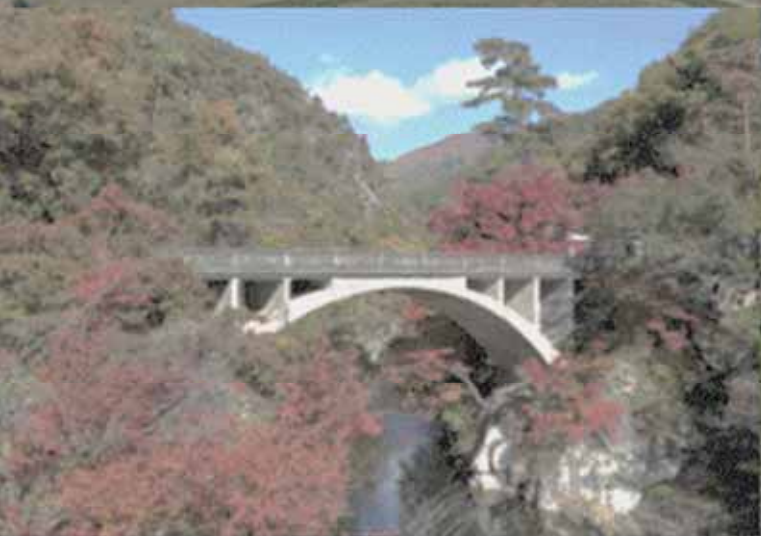


道路の整備に関するプログラム



令和 7 年3月改定

山 梨 県

Contents

1. 道路の整備に関するプログラムとは

1－1 策定の目的	1
1－2 プログラムの期間	1
1－3 計画の位置づけ	2

2. 道路整備への取り組み

2－1 道路整備の基本方針	3
I. 高速交通時代と地域資源活用への対応	4
II. 安全・安心への対応	12
III. インフラの老朽化と持続可能社会への対応	18

3. 事業箇所

3－1 プログラムに掲載する事業の考え方	21
3－2 事業箇所位置図・一覧	22

1. 道路の整備に関するプログラムとは

1-1 策定の目的

道路の整備に関するプログラム（以下、『プログラム』という。）とは、近年の道路をとりまく環境の変化に応じた新たな施策への取り組みを図るため、本県における道路整備の基本方針を示し、同方針に資する事業等を明らかにするものです。

本県は、2021年に中部横断自動車道の静岡―山梨間の全線開通や、新東名高速道路に接続する国道138号須走道路・御殿場バイパスの開通を迎えました。今後、リニア中央新幹線の開業を控える中、新たな高速交通時代への対応のため、「開通効果」を県内全域にくまなく浸透させる必要があります。

また、近年増加傾向にある台風や集中豪雨、発生が懸念される富士山噴火、大規模地震、豪雪などの自然災害に備えるための防災・減災対策及び老朽化が進む橋梁・トンネル等の道路施設の維持管理、市街地や観光地で発生している著しい渋滞の解消など、さまざまな課題へ対応するためにも計画的な道路整備がますます重要となっています。

本県ではこのプログラムに基づき、透明性を確保しつつ、道路行政をより計画的かつ効果的に進めていきます。



1-2 プログラムの期間

プログラムの期間は9年間（2019～27年度）とし、前期4年（2019～22年度）、後期5年（2023～27年度）に分けて事業箇所を示します。

道路整備プログラム(9年間)	
2019 ～ 2022 前期期間(4年間)	2023 ～ 2027 後期期間(5年間)

なお、本プログラムについては、今後の社会情勢の変化などに応じて、適宜見直しを行います。

1-3 計画の位置づけ

本プログラムは、山梨県社会資本整備重点計画（第四次）を上位計画とし、道路の整備に関する内容に特化したものとなります。

山梨県社会資本整備重点計画（第四次）

本県が目指すべき社会資本整備の基本理念

～活力があり快適で、安全安心なやまなしを未来へつなぐ～

道路整備に関する課題と重点目標

分野	課題	重点目標
活力・快適 「いかす」 やまなし	高速交通時代と地域資源 活用への対応	・リニア開業効果の県全域への波及 ・他圏域との連携強化 ・県内拠点間の連携強化 ・地域観光資源の利活用
防災・減災 「まもる」 やまなし	安全・安心への対応	・自然災害からの生命・財産の保護 ・緊急時の救援活動を支える基盤づくり ・安全安心な生活環境の確保
長寿命化 ・ 持続可能 「つなぐ」 やまなし	インフラの老朽化と持続 可能社会への対応	・インフラの長寿命化

道路の整備に関するプログラム

2019～2027

本県における道路整備の基本方針を示し、同方針に資する事業等を明らかにする

2. 道路整備への取り組み

2-1 道路整備の基本方針

本プログラムにおいては、社会資本重点整備計画（第四次）に基づき、「活力・快適」「防災・減災」「長寿命化・持続可能」を3つの柱とし、各分野の課題に対する取り組みを進めます。

I. 活力・快適 分野の課題

高速交通時代と地域資源活用への対応

- ・ リニア駅アクセス時間の短縮
- ・ 他圏域へのアクセス時間の短縮と代替機能の強化
- ・ 県内拠点間のアクセス性向上
- ・ 観光資源を活かすための道路整備

II. 防災・減災 分野の課題

安全・安心への対応

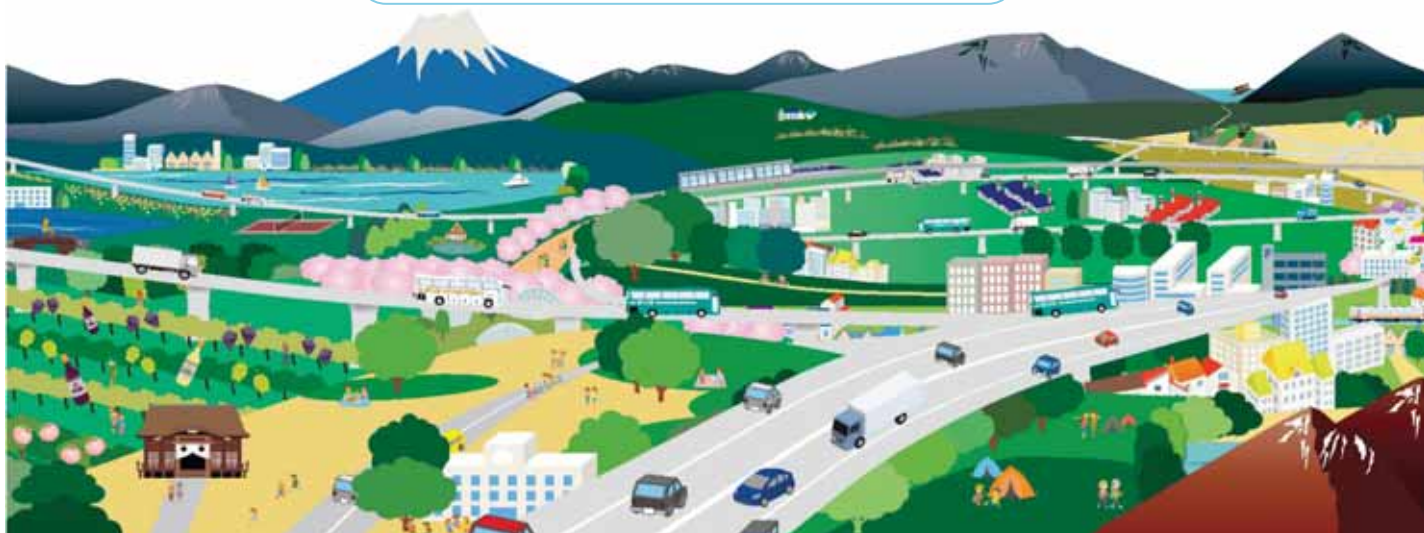
- ・ 大規模自然災害の発生に備えた道路の強靱化
- ・ 災害時にも安定して機能する強靱な道路ネットワークの構築
- ・ 高次医療機関への搬送時間の短縮
- ・ 歩行者・自転車通行空間の確保



III. 長寿命化・持続可能 分野の課題

インフラの老朽化と持続可能社会への対応

- ・ 道路インフラの長寿命化



重点目標 1：リニア開業効果の県全域への波及

■目指すべき将来像

リニア中央新幹線の開業効果が、整備された交通ネットワークなどを通じて、県内各地まで行き渡ります。

■現状：開業が迫るリニア中央新幹線により、三大都市圏へのアクセスが飛躍的に向上

リニア中央新幹線の開業により、日本三大都市圏の一体化による新たな成長の実現である「スーパーメガリージョン構想※」が打ち出され、三大都市圏の中間に位置する本県においては、新たな高速交通ネットワークが形成されます。

【リニア新幹線による移動時間】



リニア中央新幹線がもたらす大幅な時間距離の短縮効果により、大都市圏や国際空港とのアクセスが強化されます。本県においても国内外の人々との活発な交流や活動が拡大し、産業集積や新たな企業立地、観光客の増加や県外からの移住者、二地域居住者が増加する可能性が高まります。

また、本県の東西軸である中央自動車道と南北軸である中部横断自動車道に、リニア中央新幹線が連携して整備されることにより、本県の地理的な優位性は更に高まり、ヒト・モノ・情報の一大交流拠点としての発展が期待されます。

■課題：リニア駅アクセス時間の短縮

リニア中央新幹線の開業により大都市圏へのアクセスが飛躍的に向上する一方で、道路整備の遅れや渋滞によりリニア駅へのアクセスに時間を要するため、大都市圏へのアクセス時間の短縮による優位性を十分に活かすことができません。

リニア開業効果を県内各地に波及するためには、県内の幹線道路で発生している慢性的な渋滞の解消や、リニア駅への円滑なアクセスを可能とする道路の整備が必要です。

○在来線の JR 甲府駅などへのアクセス道路における主要渋滞箇所を解消する必要があります。

○リニア駅への円滑なアクセスを可能とするスマート IC や自動車専用道路の整備が必要です。

○リニア中央新幹線との円滑な乗り換えを促す、リニア駅周辺の交通結節機能の強化が必要です。

国道 358 号 遠光寺北交差点付近 渋滞状況



国道 20 号 上阿原交差点付近 渋滞状況



※スーパーメガリージョン：リニア中央新幹線の開業によって、東京―名古屋―大阪の 3 大都市圏が約 1 時間で結ばれ、一体化することで実現する世界最大の経済圏

■道路整備の方針

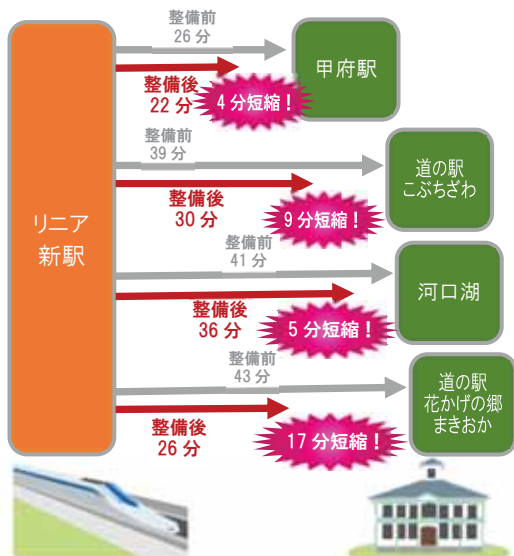
リニア駅と県内各地のアクセス性の強化によって、活力向上を図ります。

■施策1 リニア駅アクセスの向上

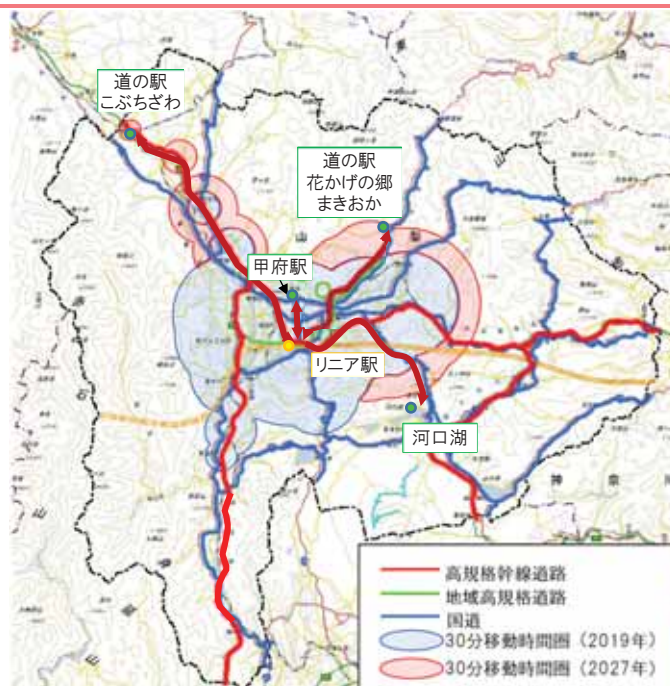
- ・リニア駅から県内拠点へのアクセス性を向上させるため、新山梨環状道路東部区間や南部区間立体化などの整備を進めます。
- ・リニア駅と甲府駅を結ぶ国道358号をはじめとした、既存道路の渋滞対策を進めます。

主な整備路線：国道20号（新山梨環状道路(北部区間)）、国道140号（新山梨環状道路(東部区間Ⅰ・Ⅱ期)）
 国道411号（和戸ICアクセス）、国道358号（遠光寺北交差点）
 国道137号（甲府富士北麓連絡道路(新たな御坂トンネル)） など

【リニア駅から各地域までのアクセス時間の短縮】



※H27 道路交通センサスより、甲府中央スマートIC、新山梨環状道路東部区間供用後の移動時間を算出



■施策2 リニア駅周辺の基盤整備

- ・リニア駅周辺の立地特性を活かした交通結節機能を強化します。

主な整備路線：（仮称）甲府中央スマートIC、（主）甲府中央右左口線（ランプ部、1次アクセス、リニア駅北側整備） など

- リニア駅と中央自動車道が近接する優位性を活かし、高速道路と高速鉄道を直結するスマートICの整備を進めます。
- リニア駅に隣接した駐車場を整備し、パーク＆ライド機能の強化を図ります。
- 新山梨環状道路からリニア駅やスマートICに接続する道路の整備を進め、アクセス機能の強化を図ります。

【リニア駅周辺整備の概要（イメージ）】



【指標：リニア駅からの30分到達圏人口カバー率】

計画策定時（令和元年度）の姿	令和9年度の姿
68.7%	72.7%
30分到達エリアは県の人口比率では約69%をカバー済です。（リニア駅から自動車で30分以内に到達できる居住人口／県人口）	新山梨環状道路、（仮称）甲府中央スマートICの整備を進めており、到達エリアが更に拡大します。

重点目標 2：他圏域との連携強化

■目指すべき将来像

広域的な交流・連携基盤となる道路ネットワークが強化され、ヒト・モノ・情報が集まり、他圏域との交流が盛んに行われています。

■現状：静岡県へ新たな高速交通網の形成と、ミッシングリンク※や深刻な渋滞の存在

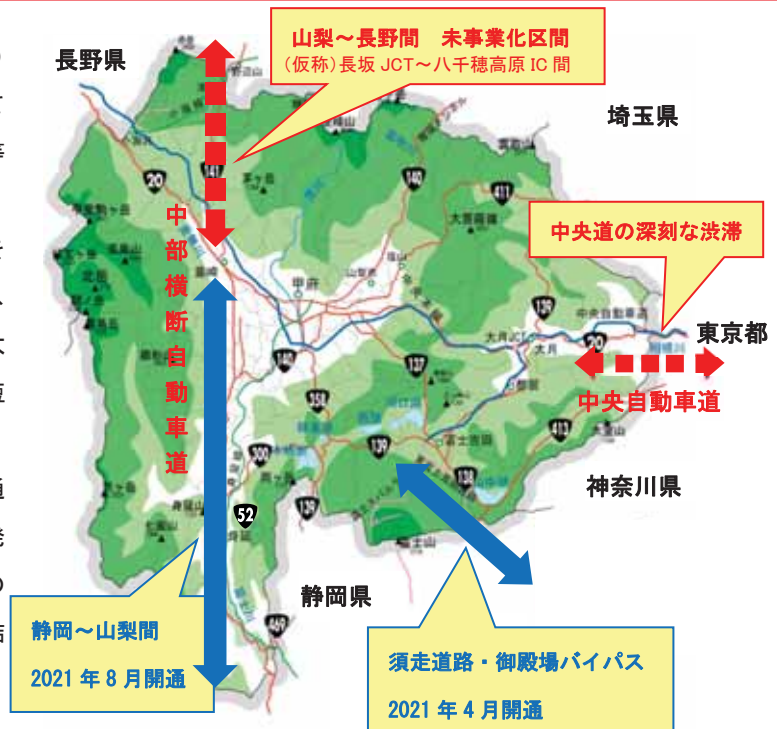
中部横断自動車道の静岡～山梨間及び国道 138 号須走道路・御殿場バイパスが開通し、静岡県との交通軸が一度に強化された一方で、中部横断自動車道の山梨～長野間はミッシングリンクとなっています。

また、中央自動車道の上野原 IC 以東では、著しい渋滞が発生しています。

中部横断自動車道の静岡～山梨間は、2021 年 8 月に開通し、山梨～長野間については、事業化に向け、都市計画決定の手続き等が進められています。

また、東富士五湖道路と新東名高速道路を結ぶ国道 138 号須走道路・御殿場バイパスが 2021 年 4 月に開通したことにより太平洋臨海地域へのアクセス時間が大幅に短縮されています。

中央自動車道は、1982 年に全線が開通し、三大都市圏を結ぶ大動脈として本県の発展に寄与してきましたが、上野原 IC 以東の慢性的な渋滞や、災害時における東京圏を結ぶ区間の脆弱性が問題となっています。



■課題：他圏域とのアクセス時間の短縮と代替機能の強化

高速道路ネットワーク等の整備が進められている中、中央自動車道の慢性的な渋滞や、中部横断自動車道のミッシングリンクにより、他圏域とのアクセスに時間を要しています。

また、災害時にも機能する多重性・代替性を持った高速道路ネットワークの整備が必要です。

- 他圏域との連携を強化し、経済圏域拡大のため、高速道路のミッシングリンクの解消が必要です。
- 物流の効率化、高速道路の利便性向上のため、暫定 2 車線区間の 4 車線化やスマート IC などの整備が必要です。
- 中央自動車道の上野原 IC 以東における慢性的な渋滞の解消が必要です。
- 災害に強く多重性・代替性を備えた高速道路ネットワークの構築が必要です。

国道 141 号 急カーブ・狹隘区間



中央自動車道 上野原 IC 付近 渋滞状況



※ミッシングリンク：分断された鉄道や（高速）道路のこと。

高速道路ネットワークの整備により、国際港湾や空港、広域物流拠点などへの円滑なアクセスの実現を図ります。

■施策１ 高速道路ネットワーク等の整備の促進

- ・中部横断自動車道の（仮称）長坂JCT～八千穂高原IC間の早期事業化を要望していきます。
- ・中央自動車道小仏トンネル～相模湖付近及び三鷹バス停付近並びに日野バス停付近の渋滞対策事業の早期完成と更なる対策の検討を要望していきます。
- ・高速道路と接続する、事業中のスマートICの整備を促進します。
- ・高速道路の4車線化を促進し、物流の効率化やアクセス時間の短縮に取り組みます。
- ・西関東連絡道路や甲府富士北麓連絡道路の将来に向けた調査・検討を、交通実態を踏まえ実施していきます。

主な整備路線： 中部横断自動車道（南部 IC～下部温泉早川 IC）令和3年8月供用
中部横断自動車道（（仮称）長坂 JCT～八千穂高原 IC）早期事業化
中部横断自動車道（白根 IC～双葉 JCT）4車線化 早期事業化
中央自動車道（小仏トンネル付近（上り線）、相模湖付近（下り線）、三鷹バス停付近及び日野バス停付近）渋滞対策
スマート IC（（仮称）甲府中央）整備促進、富士吉田忍野スマート IC 令和4年7月供用
国道138号 須走道路・御殿場バイパス令和3年4月供用

【山梨県の広域道路ネットワーク図】

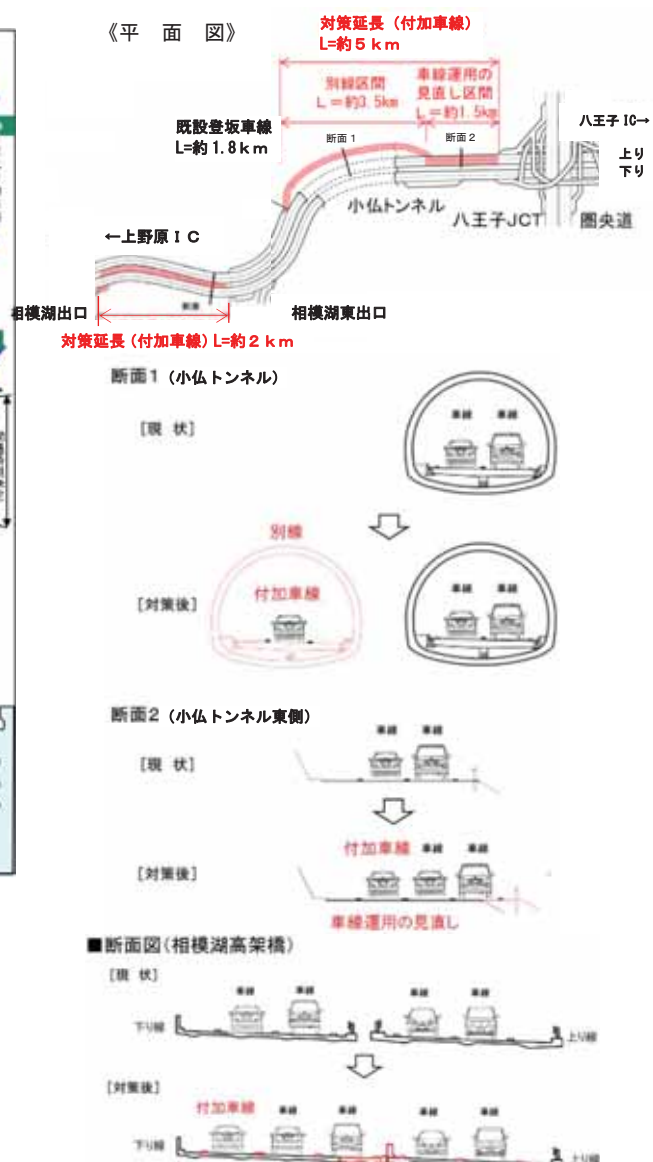


【中部横断自動車道（身延山 I C）】



写真：国土交通省 甲府河川国道事務所提供

【中央自動車道 小仏トンネル付近・相模湖付近渋滞対策】



重点目標3：県内拠点間の連携強化

■目指すべき将来像

県内拠点間の移動が円滑になり、地域間の交流や産業経済活動が活性化しています。

■現状：県内拠点間の連携不足

県内の拠点間を結ぶ道路ネットワークに残された未整備区間や深刻な交通渋滞により、県内の拠点間及び県外の広域的な拠点への移動に時間を要しています。

県内で発生している著しい渋滞は、本県の産業経済活動や県民生活に大きなマイナスとなっています。

人口一人当たりの渋滞損失時間は
全国ワースト5位！



※平成27年道路交通センサスの調査路線を対象に算出
※渋滞損失時間は平成27年道路交通センサス。人口は国勢調査（平成27年）に基づく

【都道府県別人口一人当たりの渋滞損失時間】



■課題：県内拠点間のアクセス性向上

本県の渋滞損失時間は全国でワースト5位となっており、県民生活や産業経済活動において大きなマイナスとなっています。

市街地や観光地を中心に発生している深刻な渋滞を解消し、県内拠点間の結びつきを強化するためには、環状道路やバイパスの整備、交差点改良などが必要です。

また、県外の広域拠点との連携強化のため、他都県とつながる山間部の線形不良区間や狭隘区間の解消などが必要です。



道路整備の方針

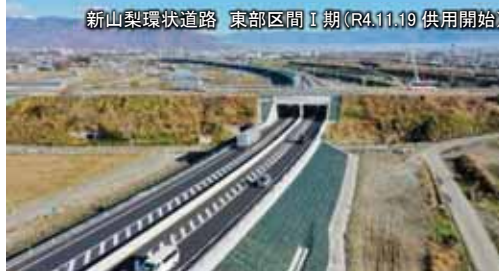
拠点を結ぶ道路整備を進め、アクセス性向上を図ることで、地域活力の向上や快適な交通環境の確保を目指します。

■施策1 県内幹線道路ネットワーク整備の推進

- 県内拠点を結び、利便性やアクセス性の向上を図るため、主要幹線道路などの整備を推進します。
- 広域的な拠点間の連携強化のため、県外と結ぶ幹線道路の整備を進めます。

主な整備路線：国道140号（新山梨環状道路（東部区間Ⅰ・Ⅱ期））、国道139号（上和田バイパス） など

○環状道路やバイパスによる県内幹線道路ネットワークの整備により、県内拠点間へのアクセス時間が短縮されます。



【指標：広域道路ネットワークに資する路線の整備延長】※43.0km：県内拠点につながる幹線道路等の整備延長

計画策定時（令和元年度）の姿	令和4年度の姿（実績）	令和9年度の姿
0.7 km	17.7 km	43.0 km
必要整備延長の約2%が整備済です。（0.7km/43.0km）	新山梨環状道路（東部Ⅰ期）等が整備され、拠点間の連携が強化されます。（17.7km/43.0km）	新山梨環状道路（東部Ⅱ期）等が整備され、拠点間の連携が強化されます。（43.0km/43.0km）

■施策2 市街地交通の円滑化の推進

- 市街地の渋滞緩和、県民の生活利便性の向上及び良好な市街地形成を図るため、安全で快適な都市計画道路を整備します。

主な整備路線：（都）和戸町竜王線（城東・中央五丁目工区）、（都）田富町敷島線（富竹Ⅱ期工区） など



【指標：街路整備延長（率）】※5.7km：2027年度までに山梨県が優先的に整備する街路の整備延長

計画策定時（令和元年度）の姿	令和4年度の姿（実績）	令和9年度の姿
19%	27%	100%
5.7kmの整備延長のうち、19%が整備済です。（1.1km/5.7km）	5.7kmの整備延長のうち、27%が整備されます。（1.5km/5.7km）	5.7kmの整備が完了し、渋滞緩和や歩行者・自転車利用者の安全性、利便性が向上します。（5.7km/5.7km）

■施策3 渋滞対策の推進

- 県内の主要渋滞箇所の対策により、円滑な交通の確保と沿道環境の改善を図るため、市街地の交通の分散を図る新山梨環状道路やバイパス整備、現道の拡幅や交差点改良等を推進します。

主な整備路線：国道358号（遠光寺北交差点）、国道138号（新屋拡幅）、（一）富士吉田西桂線（上暮地・小沼） など

【渋滞対策事例】

国道140号の十郎橋西交差点は、主に通勤時間帯に著しい渋滞が発生していましたが、左折専用レーンの設置、右折レーンの追加により、渋滞がほぼ解消されました。



【指標：主要渋滞箇所の対策箇所数】※主要渋滞箇所：245箇所 山梨県道路交通円滑化・安全委員会が選定した、対策が必要な箇所

計画策定時（令和元年度）の姿	令和4年度の姿（実績）	令和9年度の姿
30箇所	35箇所	56箇所
主要渋滞箇所のうち、30箇所の対策が完了済です。	主要渋滞箇所のうち35箇所の対策が完了します。	新山梨環状道路（東部区間）が整備され、甲府市内をはじめとする主要渋滞箇所の対策が更に進みます。

重点目標4：地域観光資源の利活用

■目指すべき将来像

国内外から多くの観光客が繰り返し本県を訪れ、県内各地の観光地が活気に満ちあふれています。また、地域の特徴を活かしたサイクルツーリズムが展開しています。

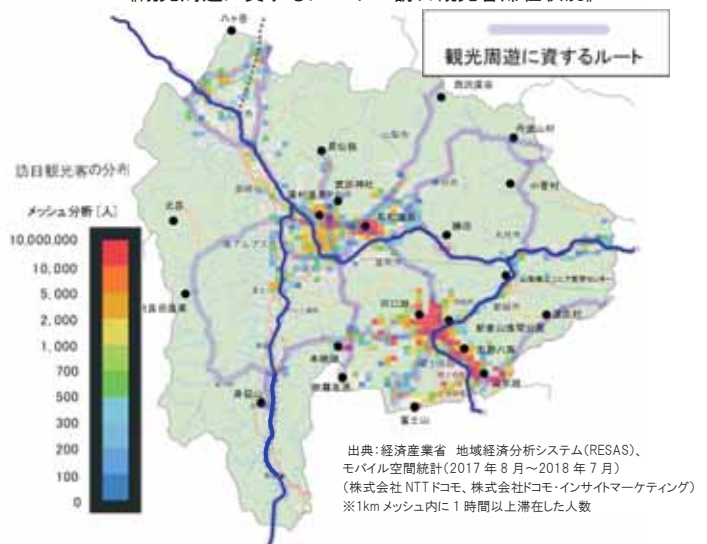
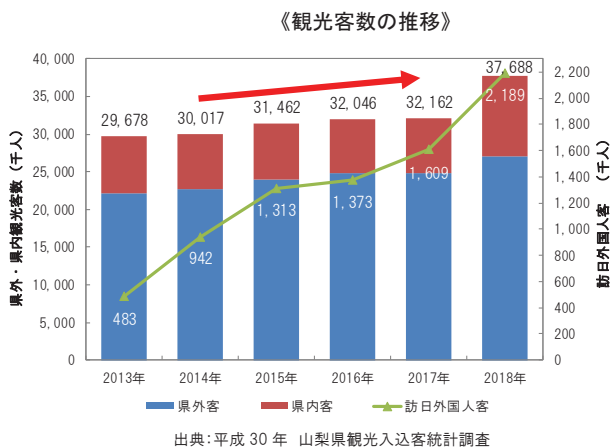
■現状：甲府都市圏・富士北麓地域を中心に観光客が増加

本県への観光客数は増加傾向ですが、来訪地は富士山周辺や甲府・石和温泉周辺が中心となっています。また、山梨県自転車活用推進計画が策定され、安全で快適な自転車通行空間の確保やモデルルート設定に向けた検討が進められています。

本県は、富士山や南アルプスなどの豊富な観光資源を有し、国内外からの観光客数は増加傾向にあります。また、2021年には東京2020オリンピック自転車ロードレースが開催され、そのレガシー（遺産）を活用した、更なる観光誘客も期待されています。

主要観光地は県内全域に分布していますが、訪れる観光客は甲府都市圏と富士北麓に集中しています。

《観光周遊に資するルート・訪日観光客滞在状況》



■課題：観光資源を活かすための道路整備

県内の観光地へアクセスする道路において、渋滞による時間損失により、定時性が確保されず、県内各地の観光地を周遊する機会を損なうことや、道路の走行性が悪いことにより、観光客の満足度が損なわれ、繰り返し本県の観光地を訪れる機会を失う可能性もあります。

また、自然豊かな景観を活かした、自転車による観光地めぐりを推進するための安全で快適な走行空間の整備が必要です。

○観光地へのアクセスや周遊を快適なものとするには、道路の線形改良や拡幅、バイパス整備などの走りやすい道路環境の整備が必要です。

大型車同士のすれ違い困難な箇所（国道300号 中之倉）



○山梨県内の国道と県道では、路肩幅員 0.75m未満の道路が県全体の約 60%を占めており、自転車が安全に通行できる空間の整備が必要となります。



自転車通行空間整備状況（国道および県道の路肩幅員）



道路整備の方針

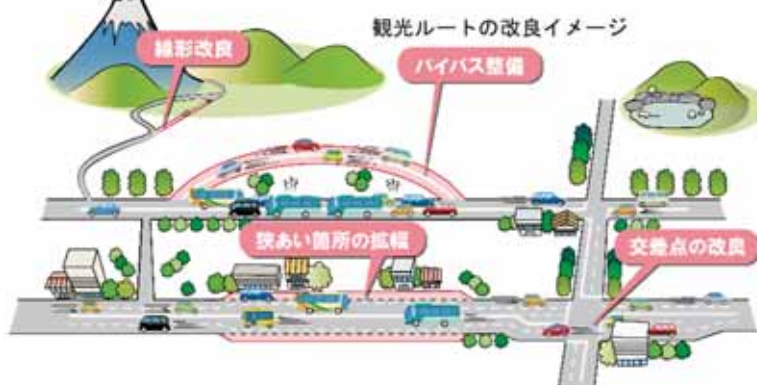
国内外から訪れる観光客が、安全で快適に県内各地で観光を楽しむことができる道づくりを目指します。

■施策1 観光周遊ネットワークの整備の推進

○県内各地に観光地が点在しており、各観光地への誘客を図るため、県内全域の主要観光地をつなぐ観光周遊ルートとなる道路の整備を推進します。

主な整備路線：国道300号（中之倉バイパス）、国道411号（勝沼拡幅）、
（主）甲斐早川線（早川・芦安連絡道路）、（主）甲府昇仙峡線（長潭橋）など

○山梨県の豊かな観光資源に、より多く周遊していただくため、観光地へのルートにおける渋滞の解消や線形改良・道路拡幅による走りやすい道路を整備します。



国道411号・勝沼拡幅 改良前



国道411号・勝沼拡幅 改良後



【指標：観光周遊に資する路線の整備箇所数】※30箇所：県内主要観光地につながる路線の整備箇所

計画策定時（令和元年度）の姿	令和4年度の姿（実績）	令和9年度の姿
1箇所	16箇所	30箇所
観光周遊ネットワーク道路における事業箇所1箇所の対策が完了済です。（1箇所/30箇所）	観光周遊ネットワーク道路における事業箇所16箇所の対策が完了します。（16箇所/30箇所）	観光周遊ネットワーク道路における事業箇所30箇所の対策が完了します。（30箇所/30箇所）

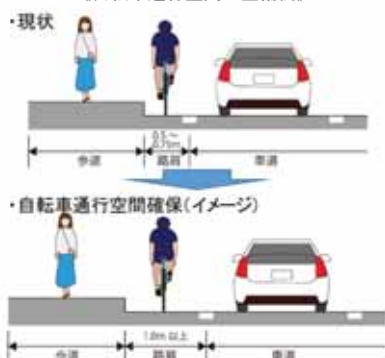
■施策2 サイクル王国やまなしの実現

○山梨県自転車活用推進計画に基づき、自転車の通行に配慮した道路整備を進めるとともに、県内各地域の観光資源等を活用したモデルルートの設定を行います。

主な整備路線：国道413号（オリンピックレガシーロード） など

○路肩のフラット化や幅員の確保、無電柱化、路面標示、舗装補修等によって、自転車通行空間を整備します。
○9つのエリア毎に、観光資源や道の駅などの拠点を自転車で周遊することができるモデルルートを設定します。

《自転車通行空間の整備例》



《モデルルートエリア》



【指標：モデルルート策定地域】

計画策定時（令和元年度）の姿	令和4年度の姿（実績）	令和9年度の姿
2エリア	9エリア	—
9エリアのうち、2エリアの設置が完了済です。（2エリア/9エリア）	9エリアのうち、9エリアの設置が完了します。（9エリア/9エリア）	自転車の安全で適正な利用等を促進し、「サイクル王国やまなし」を実現します。

重点目標 5：自然災害等からの生命・財産の保護

■目指すべき将来像

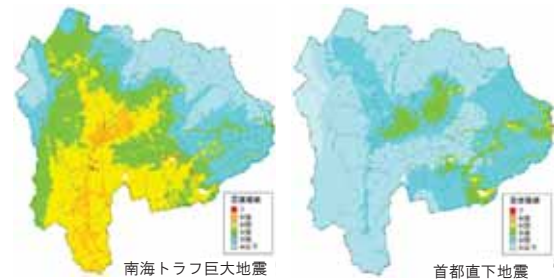
防災・減災対策が進み、県民の生命・財産が守られ、安心して生活できる社会基盤が整備されています。

■現状：大規模自然災害の切迫

南海トラフ地震をはじめとした大規模地震や、富士山噴火などの大規模自然災害の発生が懸念されています。

2015 年から 30 年以内に、マグニチュード 7.0 以上の地震が発生する確率は、南海トラフ巨大地震や首都直下地震ともに 70%程度とされています。

南海トラフ巨大地震・首都直下地震の想定震度



出典：山梨県地震被害想定調査

富士山噴火時には、富士北麓地域を中心に迅速な避難が必要となります。

富士山噴火による溶岩流等の影響想定範囲



出典：富士山火山防災対策協議会

■課題：大規模自然災害の発生に備えた、道路の強靱化

大規模地震に対する橋梁等の耐震化や、富士山噴火に備えた災害に強い道路の整備が必要です。

○ マグニチュード 7.0 を超える地震では、橋梁などの道路構造物の損壊による通行規制が、迅速な避難や災害救援活動の障害となるため、道路構造物の強靱化が急務です。

地震による橋梁の落橋・倒壊

熊本地震(2016 年 4 月)



阿蘇大橋(熊本県南阿蘇村)

岩手・宮城内陸地震(2008 年 6 月)



まつま 景 崎 大橋(岩手県一関市)

写真(左):

国土交通省九州地方整備局 熊本河川国道事務所
「国道 325 号ルート・構造に関する技術検討会」
http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto_r/img/pdf/road_325_09.pdf

写真(右):

国土交通省九州地方整備局
「祭時大橋調査報告書附属資料」
[http://www.thr.mlit.go.jp/road/H20iwaite_miyagi_nai_rikujisin/\(080619\)fuzokusiryou.pdf](http://www.thr.mlit.go.jp/road/H20iwaite_miyagi_nai_rikujisin/(080619)fuzokusiryou.pdf)

○ 富士山噴火時には、地域住民や富士山を訪れる観光客などの円滑かつ迅速な避難が必要となることから、災害に強く信頼性の高い道路の整備が必要です。

降灰による走行性の低下・視界不良



三宅島 (2000 年噴火災害)

写真：気象庁 HP「火山噴出物に関する用語」

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/funshutsuhtml>

富士山噴火時における被害想定



■道路整備の方針

大規模自然災害に備え、インフラの耐震対策や災害に強い道路の整備を進めます。

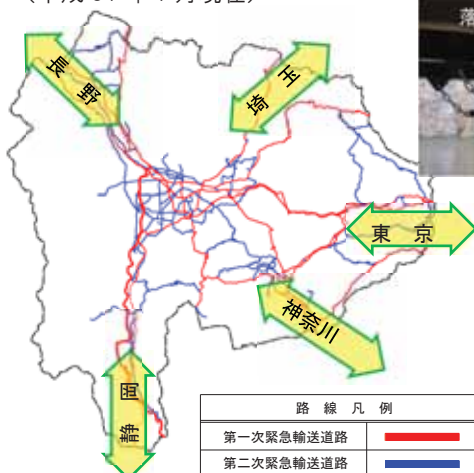
■施策１ インフラ耐震対策の推進

○大規模地震時における救助・救援をはじめ、物資の輸送や施設の復旧等、円滑かつ迅速な活動を確保するため、緊急輸送道路の橋梁及び跨線橋・跨道橋の耐震化を進めます。

主な整備路線：(主) 韮崎南アルプス中央線 豊積橋、(一) 石和温泉停車場線 鵜飼橋 など

○ 緊急輸送道路において耐震化が必要な橋梁は 520 橋ありますが、令和 9 年度末までには、これら全ての耐震化の完了を目標に進めます。

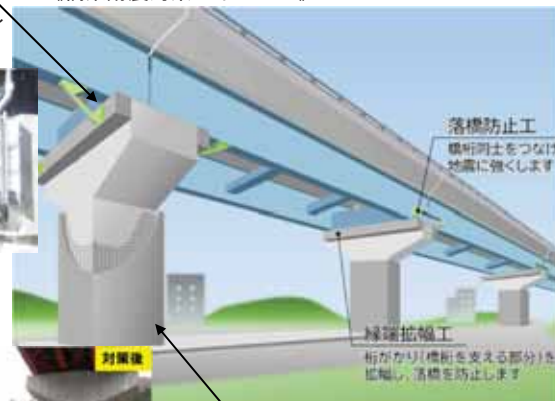
■山梨県緊急輸送道路ネットワーク計画図 (平成 31 年 1 月現在)



《落橋防止工》
橋脚と橋桁を一体化し
落橋を防止します。



《橋梁耐震対策のイメージ》



《橋脚補強工》
橋脚にコンクリートや鋼板を巻
きたてて補強します。

【指標：緊急輸送道路の橋梁及び跨線橋・跨道橋の耐震化率】

計画策定時（令和元年度）の姿	令和 4 年度の姿（実績）	令和 9 年度の姿
46%	53%	100%
緊急輸送道路の橋梁及び跨線橋・跨道橋のうち耐震化が必要な橋梁の約 46% が耐震化済です。(239 橋/520 橋)	緊急輸送道路の橋梁及び跨線橋・跨道橋のうち耐震化が必要な橋梁の、約 53% が耐震化されます。(275 橋/520 橋)	緊急輸送道路の橋梁及び跨線橋・跨道橋のうち耐震化が必要な橋梁の 100% が耐震化されます。(520 橋/520 橋)

■施策２ 富士山火山防災の推進

○富士山噴火時に地元住民や来訪者などの円滑な避難誘導を図るため、各方面への避難路となる災害に強い道路・トンネル等の整備を推進します。

主な整備路線：国道 137 号新たな御坂トンネル、国道 413 号道志バイパス など

【富士山噴火避難・道路ネットワーク イメージ図】

○ 富士山噴火時には、地元住民や観光客の迅速な避難が必要となります。富士山麓地域から全方向への避難と代替性の確保を実現するため、避難路となる国道 137 号や国道 358 号、国道 413 号などの防災機能の強化が必要です。



重点目標 6：緊急時の救援活動を支える基盤づくり

■目指すべき将来像

道路防災対策を進めることにより、災害時においても多重性を持った道路ネットワークが構築されています。

■現状：強化化する台風などによる、水害や土砂災害の頻発

台風や豪雨により、本県の山間部では土砂崩落などの自然災害が発生し、集落が孤立するなどの問題が生じています。

周囲を急峻な山々に囲まれた本県においては、土砂災害による道路被害・河川氾濫が発生しやすい状況にあります。法面崩落や落石、路肩の崩壊などによる道路の分断は、迅速な避難・救援活動の大きな障害となります。

《台風や豪雨による道路災害の事例》



台風による土砂・道路崩落
(主要地方道 南アルプス公園線)



豪雨による土砂崩落
(主要地方道 北杜富士見線)



豪雨による落石
(国道 300 号)

■課題：災害時にも安定して機能する強靱な道路ネットワークの構築

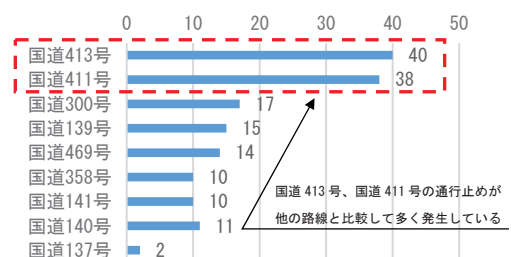
・激甚化する豪雨災害により通行止めが発生し、救急救援活動に大きな障害となることから、緊急輸送道路などの道路防災対策が急務です。

〇県管理道路の緊急輸送道路には、未だ事前雨量規制区間が残されており、大雨などによる通行止めや集落の孤立が多発しています。

《緊急輸送道路の事前雨量規制基準区間》



《国道（県管理道路）の通行止め回数（2015 年～2020 年）》



《孤立可能性集落数（都道府県別）》



出典：内閣府 「中山間地等の集落散在地域における孤立集落発生の可能性に関する状況フォローアップ調査」（平成 26 年 10 月）

■道路整備の方針

災害時の避難や救援活動を支える道路ネットワークの強靱化を進めます。

■施策 1 災害時の避難や救援等に備えた道路の整備（避難路・法面对策・電線類地中化）

- 大規模災害発生時の広域的な避難や救援活動を支える道路を確保するため、幹線道路の整備を実施します。
- 国が事業を行う新山梨環状道路（北部区間）の整備促進と、未事業化区間の早期事業化を要望します。
- 災害時の広域連携強化のため、高規格道路等の強靱化に向け関係機関と課題について共有していきます。
- 県が管理する道路には、落石や土砂崩落等の災害発生危険箇所が数多くあり、このうち、災害発生の危険性が高い箇所から、緊急輸送道路や雨量規制区間の指定及び迂回路の有無等から 122 箇所の優先箇所を抽出し、令和 9 年度までに 75 箇所の道路法面对策を実施します。
- 台風や地震等により電柱が倒壊すると、災害時の避難や救援活動等に大きな障害となることから、社会的影響が大きい市街地の重要拠点を結ぶ緊急輸送道路において、電線類地中化事業を推進します。

主な整備路線：道路防災対策 国道 358 号（甲府市古閑地内ほか）

（主）甲府韮崎線（甲府市湯村～千塚工区）電線類地中化 など

○緊急輸送道路などの道路防災対策、電線類地中化、バイパス整備などを推進します。



【指標：道路防災危険箇所の対策箇所数】

計画策定時（令和元年度）の姿	令和 4 年度の姿（実績）	令和 9 年度の姿
30 箇所	47 箇所	75 箇所
法面崩壊などの災害発生の危険性が高い箇所のうち緊急輸送道路や雨量規制区間内等の 30 箇所の対策が完了しています。 （30 箇所/122 箇所）	法面崩壊などの災害発生の危険性が高い箇所のうち緊急輸送道路や雨量規制区間内等の 47 箇所の対策が完了します。（47 箇所/122 箇所）	法面崩壊などの災害発生の危険性が高い箇所のうち緊急輸送道路や雨量規制区間内等の 75 箇所の対策が完了します。（75 箇所/122 箇所）

【指標：国、県、市町村道での電線類地中化の整備延長】

計画策定時（令和元年度）の姿	令和 4 年度の姿（実績）	令和 9 年度の姿
134km	153km	190km
県内の国、県、市町村道で、134km の電線類が地中化されています。	第 7 期山梨県無電柱化推進計画に従い、県内の国、県、市町村道で 153km の電線類が地中化され、道路の防災性の向上、歩行者空間の確保、良好な景観形成等の様々な観点からの成果が発揮されます。	県内の国、県、市町村道で 190km の電線類が地中化され、さらに道路の防災性の向上、歩行者空間の確保、良好な景観形成等の様々な観点からの成果が発揮されます。

重点目標 7：安全・安心な生活環境の確保

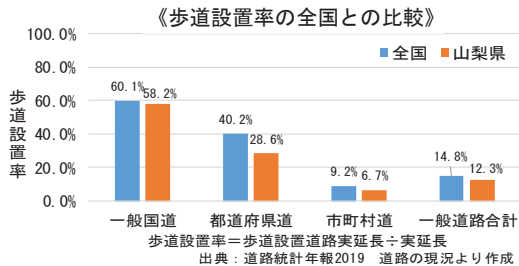
■目指すべき将来像

県民が安全に、安心して生活できる道路交通環境が構築されています。

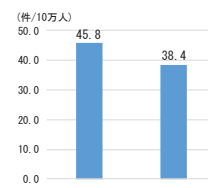
■現状：県民の生命や暮らしを守る道路交通環境が未整備

安全・安心な生活環境の確保のためには、通学路を中心とした安全な歩行者・自転車通行空間の確保や、救急救命活動における高次医療機関への迅速な搬送が求められます。

山梨県は全国と比較して歩道設置率が低く、安全・安心な道路空間の整備が遅れています。また、人口10万人当たりの歩行者事故発生件数は全国と比べて高くなっています。



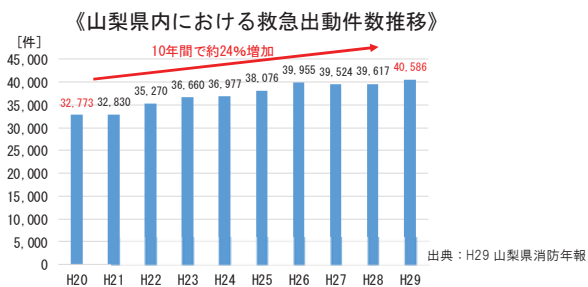
《人口10万人当たり歩行者事故発生件数》



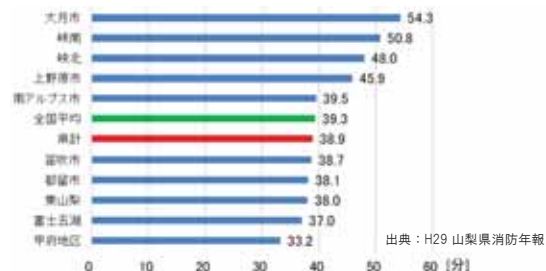
出典：山梨県警察「山梨県の交通事故 平成29年中の交通事故発生状況」
警察庁交通局「平成30年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通違反取締り状況等について」

山梨県における救急出動件数は高齢者の搬送や転院搬送によって、年々増加傾向にあります。また、救急搬送時間※については、平均で約39分であり、地域によっては、約50分以上の時間を要しています。

※救急搬送時間：救急通報を受けてから、対象患者を医療機関に収容するまでの時間



《山梨県地域別救急搬送時間》

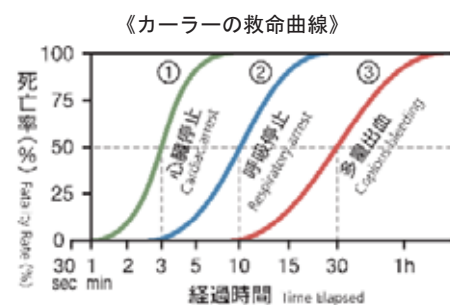


■課題：高次医療機関への搬送時間の短縮と、歩行者・自転車通行空間の確保

救急救命率の向上を図るためには、高次医療機関への迅速かつ安全な搬送が求められます。歩行者や自転車が安全に通行するための道路整備が必要です。

- ・重篤な傷病者の救命率を高めるためには、救急搬送に要する時間を短くする必要があります。例えば、多量出血の場合、30分放置することで死亡率が50%となり、搬送時間が遅れば、更に救命率が下がります。
- ・搬送時間については、地域により差があるほか、山間部における急カーブや勾配の変化により、傷病者に負担がかかる場合があります。

救急救命率向上のためには、高次医療機関への迅速な搬送が必要



○歩道・自転車走行空間の未整備



■道路整備の方針

高次医療機関への円滑なアクセスを可能とする道路の整備を推進します。
安全で快適に通行できる歩行者・自転車空間や、歩道のユニバーサルデザインなどの整備を推進します。

■施策１ 高次医療機関へのアクセス整備の推進

- 高次医療機関へのアクセス時間短縮による救命率向上を図るために、中部横断自動車道や新山梨環状道路の整備促進や未事業区間の早期事業化を国に要望していきます。
- 高速道路を利用して高次医療機関へのアクセス時間を短縮させるため、高速道路と接続するスマート IC の整備促進や新設を検討します。

主な整備路線：国道 140 号（新山梨環状道路（東部区間Ⅰ・Ⅱ期））、国道 411 号（和戸 IC アクセス）、
国道 20 号（新山梨環状道路（北部区間））、（仮称）甲府中央スマート IC など

- 渋滞対策やバイパスの整備などにより、高次医療機関へのアクセス時間の短縮が期待されます。

中でも、新山梨環状道路やスマートインターチェンジの整備により、山梨県立中央病院や山梨大学医学部付属病院への30分到達圏域は大きく広がると想定されます。

- また、線形の改良などにより、傷病者への負担軽減が期待できます。



《高次医療機関 30 分到達圏域》



【指標：高次医療機関への 30 分アクセス圏人口カバー率】

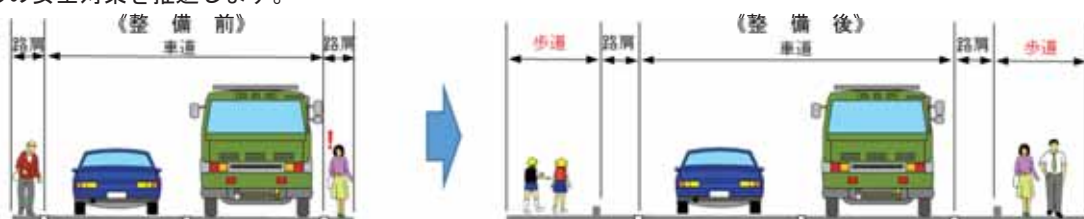
計画策定時（令和元年度）の姿	令和 4 年度の姿（実績）	令和 9 年度の姿
66.1%	—	70.5%
30 分到達エリアは県の人口比率では約 66%をカバー済みです。	新山梨環状道路（東部Ⅰ期）が整備され、アクセス性が向上します。	新山梨環状道路（東部Ⅱ期）、甲府中央スマート IC が整備され、到達エリアが更に拡大します。

■施策２ 道路の安全対策の推進

- 歩行者や高齢者などを巻き込む交通事故を無くすため、安全な道路交通環境の向上を目指します。特に、次世代を担う子供のかげがえのない命を交通事故から守る観点から、通学路や未就学児が日常的に集団で移動する経路等で、学校や幼稚園、警察、道路管理者、市町村等による合同点検を実施し、対策が必要とされた箇所について重点的に整備を進めます。

主な整備路線：甲斐中央線（築地新居工区）、甲府中央左右口線（中小河原工区） など

- 歩道の整備や自転車通行帯の整備によって、歩行者・自転車と自動車を分離した安全な道路空間を実現するための安全対策を推進します。



Ⅲ. インフラの老朽化と持続可能社会への対応 長寿命化・持続可能「つなぐ」やまなし

重点目標 8：インフラ長寿命化

■目指すべき将来像

道路インフラが適切に機能するなど、まちをあるべき姿で未来へつなぎ、持続可能な社会が構築されています。

■現状：補修や更新が必要な道路構造物の増加

建設後50年が経過し、更新時期を迎える橋梁やトンネルが急増します。

道路施設の築年数をみると、建設後50年以上を経過した割合は橋梁で31.2%、トンネルで20.6%です。概ね15年後の2034年には、建設後50年以上を経過した割合は橋梁で60.1%、トンネルで43.4%と大きく増加します。

一方で、橋梁点検の結果では、早期に何らかの措置が必要な橋梁は全体の7%程度にとどまっており、一定の機能は維持しています。

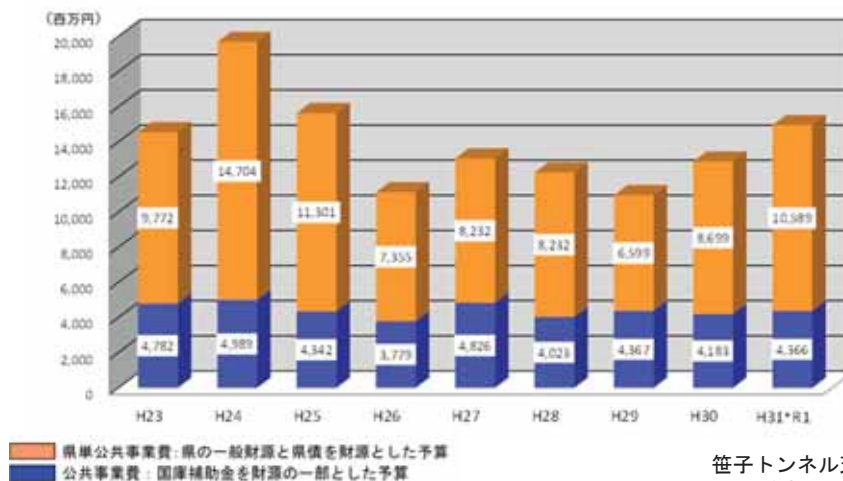


■課題：道路インフラの長寿命化

将来に向けて、効果的・効率的なインフラの長寿命化が求められています

- ・道路施設の維持補修に関する予算が減少傾向にある中、更新が必要になる道路施設が急増することで、多額の費用や長期間の工事が必要になります。
- ・更新時期の集中によって、社会や生活への影響も大きくなることが予想されることから、計画的な道路の管理・更新が求められます。
- ・老朽化が著しい道路施設は、修繕にかかる費用や工期が増加し、また、利用者の安全への脅威や災害に対する脆弱性が懸念されることから、早急な対策が必要です。

道路維持補修当初予算の変遷



早急な対応が必要な道路施設



笹子トンネル天井板落下事故 (老朽化による事故)



写真提供：大月市消防本部

■道路整備の方針

橋梁やトンネルなどの道路構造物は、計画的な維持管理、更新を行います。

■施策 1 道路施設の長寿命化の推進

○建設から 50 年が経過し、早期に補修が必要な橋梁やトンネル等の道路施設が多く存在することから、各施設の長寿命化計画に基づき、老朽化対策を推進します。

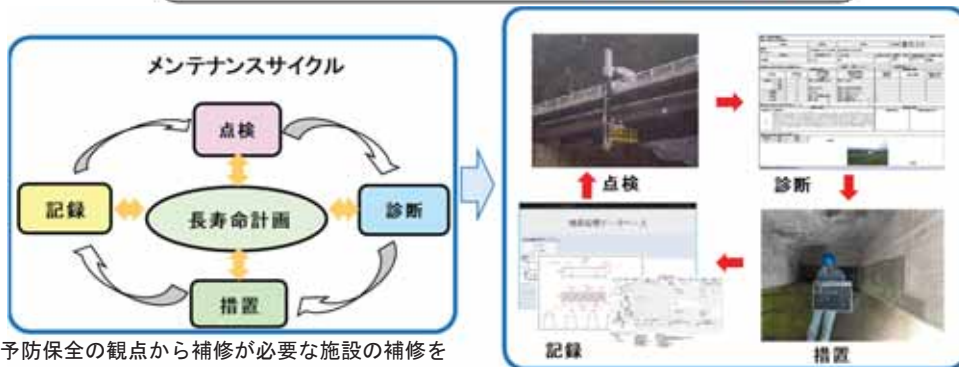
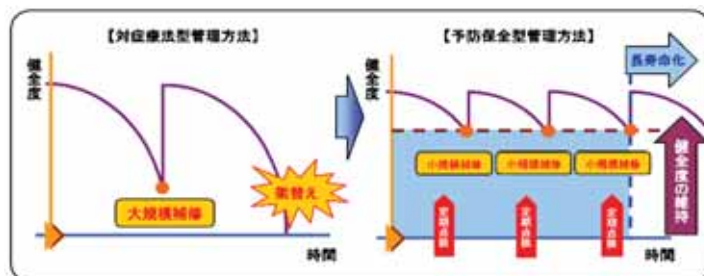
主な整備路線：国道 358 号 芦川大橋 など

本県では、施設ごとに長寿命化計画や維持管理計画を策定し、これに基づいた取り組みを進めています。計画的な取り組みによって、必要な機能を確保しながら、費用の平準化やコスト縮減を行います。

計画一覧

- 山梨県橋梁長寿命化実施計画(令和 4 年 10 月)
- 山梨県トンネル維持管理計画(令和 4 年 10 月)
- 山梨県道路付属物維持管理計画(令和 6 年 1 月)
- 山梨県道路舗装維持管理計画(平成 30 年 3 月)

予防保全型維持管理方法による健全度の維持



※予防保全の観点から補修が必要な施設の補修を進め、メンテナンスサイクルを確立する



計画策定時（令和元年度）の姿	令和 4 年度の姿（実績）	令和 9 年度の姿
22.0%	46.0%	100.0%
予防保全の観点から補修が必要な橋梁の内、当該年度までに補修が必要な橋梁の補修に着手した割合が 22%です。	予防保全の観点から補修が必要な橋梁の内、当該年度までに補修が必要な橋梁の補修に着手した割合が 46%になります。	予防保全の観点から補修が必要な橋梁の内、当該年度までに補修が必要な橋梁の補修に着手した割合が 100%になります。

《まとめ》道路整備の取り組み

分野	重点目標	課題	施策
活力・快適 「いかす」 やまなし	1 リニア開業効果の県全域への波及	リニア駅アクセス時間の短縮	1. リニア駅アクセスの向上 2. リニア駅周辺の基盤整備
	2 他圏域との連携強化	アクセス時間の短縮と代替機能強化	1. 高速道路ネットワーク等の整備の促進
	3 県内拠点間の連携強化	県内拠点間のアクセス性向上	1. 県内幹線道路ネットワーク整備の推進 2. 市街地交通の円滑化の推進 3. 渋滞対策の推進
	4 地域観光資源の利活用	観光資源を活かすための道路整備	1. 観光周遊ネットワーク整備の推進 2. サイクル王国やまなしの実現
防災・減災 「まもる」 やまなし	5 自然災害からの生命・財産の保護	大規模自然災害の発生に備えた道路の強靱化	1. インフラ耐震対策の推進 2. 富士山火山防災の推進
	6 緊急時の救援活動を支える基盤づくり	災害時にも安定して機能する強靱な道路ネットワークの構築	1. 災害時の避難や救援等に備えた道路の整備
	7 安全安心な生活環境の確保	高次医療機関への搬送時間の短縮と歩行者・自転車通行空間の確保	1. 高次医療機関へのアクセス整備の推進 2. 道路の安全対策の推進
長寿命化・持続可能 「つなぐ」 やまなし	8 インフラ長寿命化	道路インフラの長寿命化	1. 道路施設の長寿命化の推進

3. 事業箇所

3-1 プログラムに掲載する事業の考え方

本プログラムについては、本県が進める道路行政の透明性を確保しつつ、近年の道路を取り巻く環境の変化に応じた新たな施策への取り組みなども併せ、計画的かつ効果的に施策を進めるために、必要な主要事業箇所を掲載しています。

■ 掲載対象となる事業箇所と事業規模については、概ね下記のとおりを目安としますが、計画期間内に重点的に事業を進めていく箇所については、下記を目安にかかわらず掲載しています。

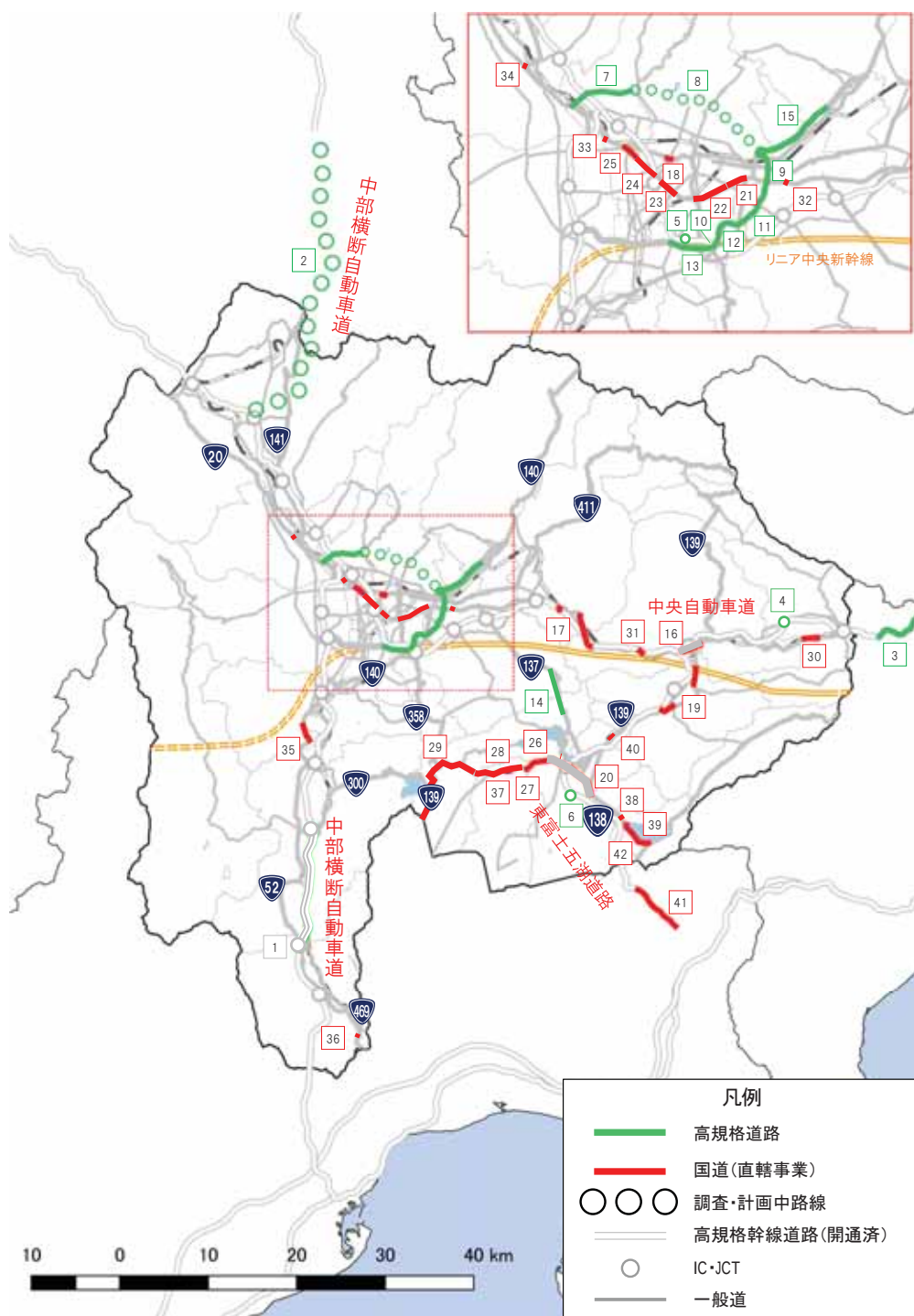
道路種別	工 種	プログラム掲載対象
高規格幹線道路	全工種	全ての事業
地域高規格道路		
直轄国道		主要な事業
補助国道および県道	改築	総事業費 概ね 5 億円以上
	交通安全	
	災害防除	
	老朽化対策	
	電線共同溝	
街路(県)	改築・電線共同溝	総事業費 概ね 5 億円以上
市町村道 (街路含む)	改築・交通安全・ 災害防除・老朽化対策・ 電線共同溝	総事業費 概ね 1 億円以上

※対象となる事業箇所は、今後の社会情勢の変化などにより、変更となる場合があります。

※災害防除・老朽化対策については、今後の法定点検や災害等により緊急的な対応が生じる場合があります。

3-2 事業箇所位置図・一覧

高規格幹線道路・地域高規格道路・直轄国道



■ 事業箇所一覧

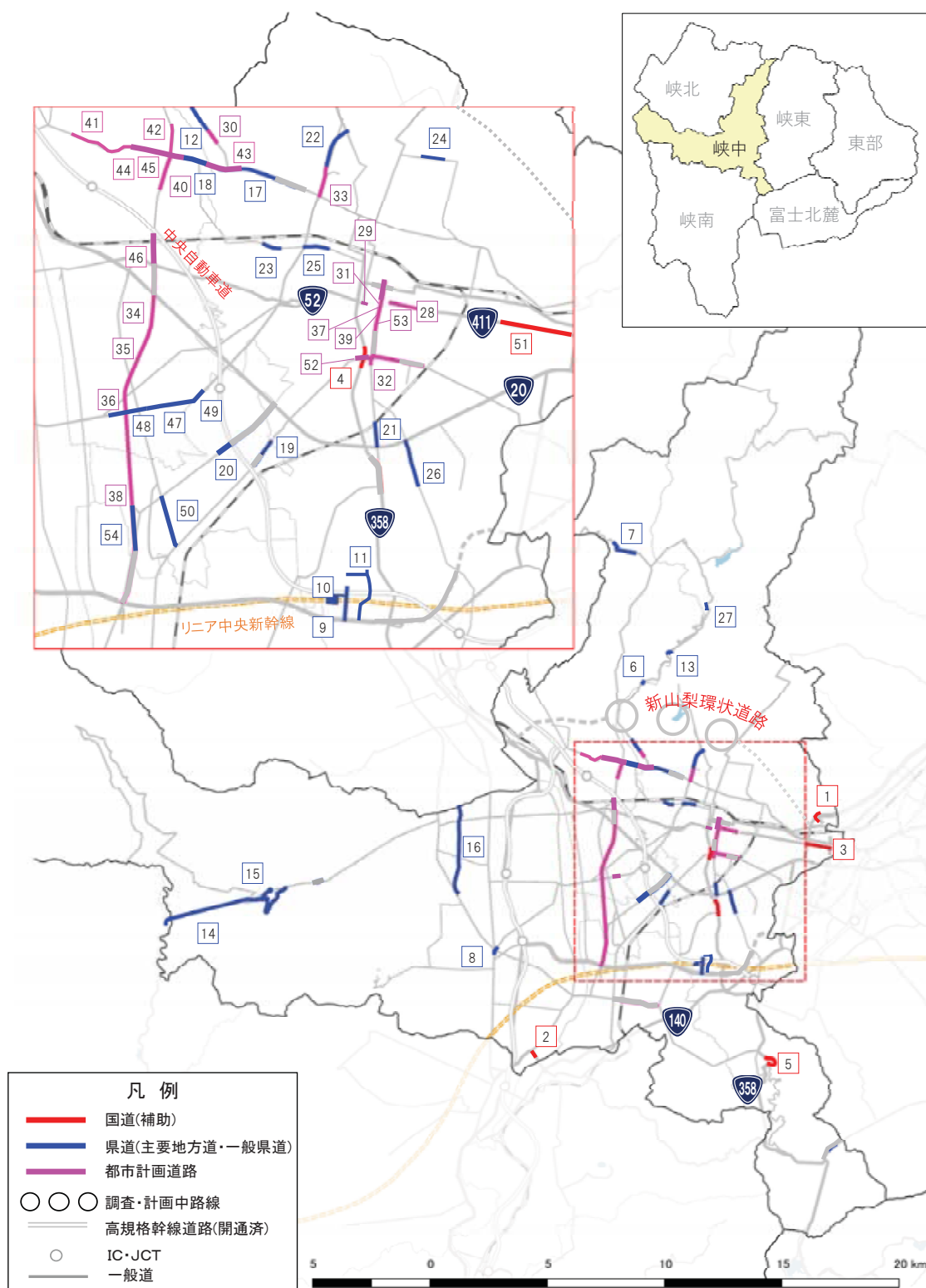
高規格幹線道路・地域高規格道路・直轄国道

図面 番号	道路種別	事業主体	路線名	工区名	市町村	事業概要	前期目標年度 (R1(2019)～ R4(2022))	後期目標年度 (R5(2023)～ R9(2027))	後期計画期間 投資予定額 (億円)	全体事業費 (億円)
1	高速	国土交通省	中部横断自動車道	富沢～六郷	南部町・身延町・市川三郷町	高規格幹線道路整備	R3(2021)完成	—	—	3154
2	高速	—	中部横断自動車道	長坂～八千穂	北杜市～佐久穂町	高規格幹線道路整備	未定	未定	—	未算定
3	高速	中日本高速道路(株)	中央自動車道	(上り)小仏トンネル付近 (下り)相模湾付近	八王子市・相模原市	渋滞対策 (別線トンネル・拡幅)	事業促進	未定	—	—
4	高速	中日本高速道路(株) 上野原市	中央自動車道	談合坂スマートIC	上野原市	スマートIC整備	R2(2020)完成	—	—	—
5	高速	中日本高速道路(株) 山梨県	中央自動車道	(仮称) 甲府中央スマートIC	甲府市	スマートIC整備	事業促進	未定	—	—
6	高速	中日本高速道路(株) 富士吉田市	東富士五湖道路	富士吉田忍野スマートIC	富士吉田市	スマートIC整備	R4(2022)完成	—	—	—
7	地高	国土交通省	国道20号(新山梨環状道路)	北部区間(牛勾～宇津谷)	甲斐市	バイパス整備	事業促進	未定	—	353
8	地高	国土交通省	国道20号(新山梨環状道路)	北部区間(桜井～牛勾)	甲府市・甲斐市	バイパス整備	未定	未定	—	未算定
9	地高	国土交通省	国道20号(新山梨環状道路)	北部区間(広瀬～桜井)	笛吹市・甲府市	バイパス整備	事業促進	未定	—	228
10	地高	山梨県	国道140号(新山梨環状道路)	東部区間Ⅰ期	甲府市	バイパス整備	R4(2022)完成	—	—	135
11	地高	山梨県	国道140号(新山梨環状道路)	東部区間Ⅱ期(～東油川)	甲府市・笛吹市	バイパス整備	事業促進	R9(2027)完成	240	590
				東部区間Ⅱ期(東油川～)	笛吹市	バイパス整備	事業促進	事業促進		
12	地高	山梨県	国道140号(新山梨環状道路)	東部区間	甲府市・笛吹市	4車線化	未定	未定	未算定	未算定
13	地高	山梨県	甲府中央左右口線	南部区間(新環状立体化)	甲府市・中央市	バイパス整備	事業促進	未定	—	41
14	地高	山梨県	国道137号(甲府富士北麓連絡道路)	河口～藤野木区間	富士河口湖町・笛吹市	バイパス整備	新規事業着手	事業促進	91	372
15	地高	山梨県	国道140号(西関東連絡道路)	甲府市桜井町～山梨市万力	甲府市・笛吹市・山梨市	4車線化等	未定	未定	未算定	未算定
16	直轄国道	国土交通省	国道20号	大月バイパス	大月市	バイパス整備	R4(2022)完成	—	—	438
17	直轄国道	国土交通省	国道20号	新笹子トンネル・観音トンネル	大月市・甲州市	バイパス整備	事業促進	事業促進	—	150
18	直轄国道	国土交通省	国道52号	上石田改良	甲府市	バイパス整備	事業促進	事業促進	—	143
19	直轄国道	国土交通省	国道139号	都留バイパス	都留市	バイパス整備	事業促進	—	—	310
20	直轄国道	国土交通省	国道138号	新屋拡幅	富士吉田市	現道拡幅	事業促進	事業促進	—	80
21	直轄国道	国土交通省	国道20号	甲府電線共同溝	甲府市	電線共同溝	事業促進	事業促進	—	15
22	直轄国道	国土交通省	国道20号	甲府住吉電線共同溝	甲府市	電線共同溝	事業促進	事業促進	—	22
23	直轄国道	国土交通省	国道20号	甲府国母電線共同溝	甲府市	電線共同溝	事業促進	事業促進	—	12
24	直轄国道	国土交通省	国道20号	甲府徳行電線共同溝	甲府市	電線共同溝	事業促進	事業促進	—	17
25	直轄国道	国土交通省	国道20号	甲斐電線共同溝	甲斐市	電線共同溝	事業促進	事業促進	—	16
26	直轄国道	国土交通省	国道139号	富士北麓電線共同溝	富士河口湖町～富士吉田市	電線共同溝	R4(2022)完成	—	—	32
27	直轄国道	国土交通省	国道139号	富士北麓(2)電線共同溝	鳴沢村～富士河口湖町	電線共同溝	事業促進	事業促進	—	29
28	直轄国道	国土交通省	国道139号	鳴沢電線共同溝	鳴沢村	電線共同溝	事業促進	事業促進	—	30
29	直轄国道	国土交通省	国道139号	本栖精進電線共同溝	富士河口湖町	電線共同溝	事業促進	事業促進	—	45
30	直轄国道	国土交通省	国道20号	四方津地区歩道整備	上野原市	歩道設置	事業促進	事業促進	—	—
31	直轄国道	国土交通省	国道20号	初狩地区歩道整備	大月市	歩道設置	事業促進	事業促進	—	—
32	直轄国道	国土交通省	国道20号	広瀬交差点改良	笛吹市	交差点改良	事業促進	R5(2023)完成	—	—
33	直轄国道	国土交通省	国道20号	三社神社入口交差点改良	甲斐市	交差点改良	事業促進	R5(2023)完成	—	—
34	直轄国道	国土交通省	国道20号	一ツ谷交差点改良	韭崎市	交差点改良	事業促進	事業促進	—	—
35	直轄国道	国土交通省	国道52号	鉾沢地区歩道整備	富士川町	歩道設置	R4(2022)完成	—	—	—
36	直轄国道	国土交通省	国道52号	万沢地区歩道整備	南部町	歩道設置	事業促進	事業促進	—	—
37	直轄国道	国土交通省	国道139号	天神山地区歩道整備	鳴沢村	歩道設置	R4(2022)完成	—	—	—
38	直轄国道	国土交通省	国道138号	明神前歩道整備	山中湖村	歩道設置	事業促進	事業促進	—	—
39	直轄国道	国土交通省	国道138号	山中湖自転車歩行者道整備	山中湖村	自転車歩行者道設置	事業促進	事業促進	—	—
40	直轄国道	国土交通省	国道139号	上暮地歩道整備	富士吉田市	歩道設置	事業促進	事業促進	—	—
41	直轄国道	国土交通省	国道138号	須走道路・御殿場バイパス(西区間)	小山町・御殿場市	バイパス整備	R3(2021)完成	—	546	—
42	直轄国道	国土交通省	国道138号	鳴沢電線共同溝	山中湖村	電線共同溝	—	新規事業着手	—	18

※計画期間内に完成を予定している事業箇所について、目標とする完成年度を記載しています。

県事業 補助国道・県道・街路（県代行）

（１）峡中



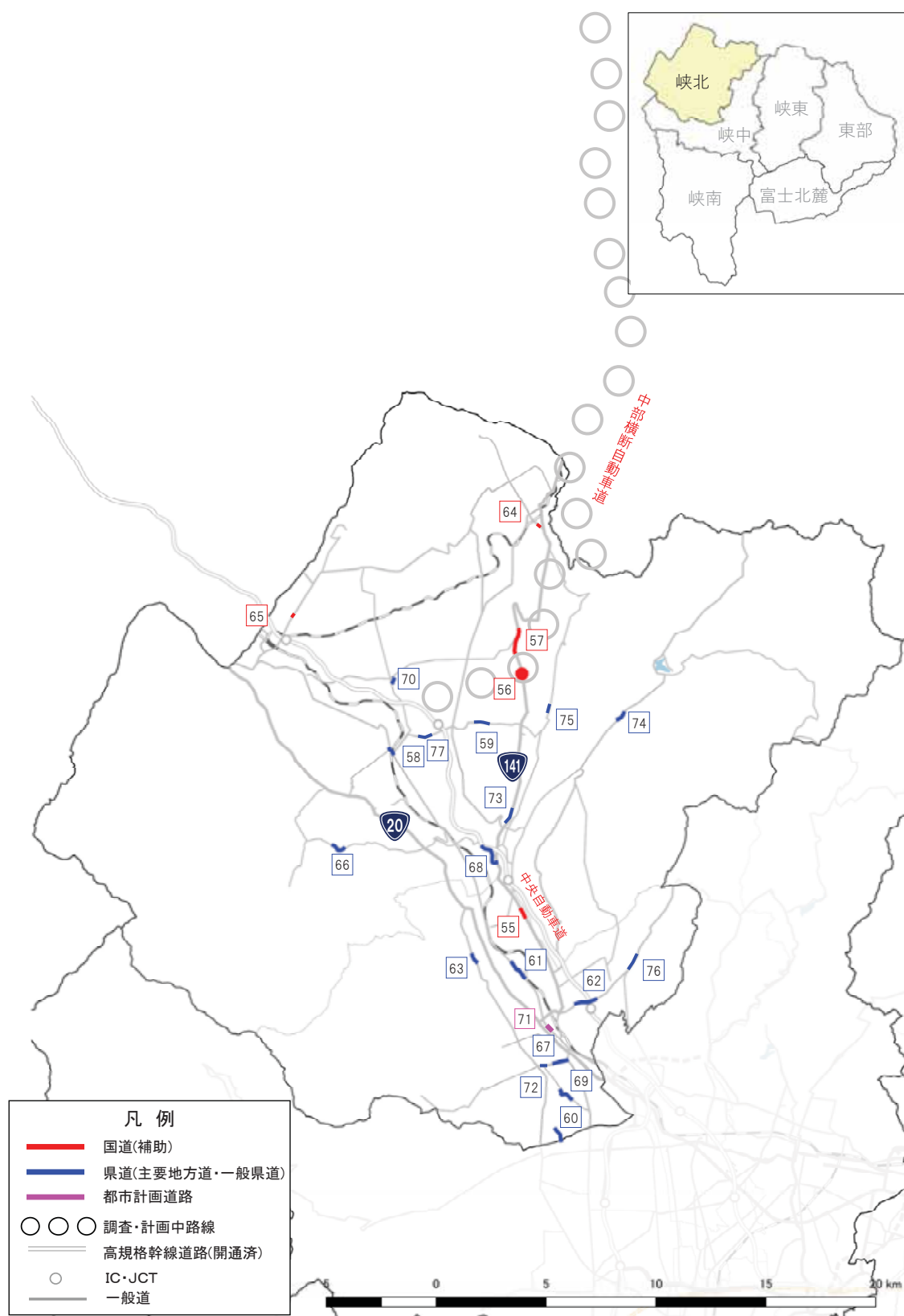
■ 事業箇所一覧

峡中

図面 番号	道路種別	路線名	工区名	市町村	事業概要	前期目標年度 (R1(2019)～ R4(2022))	後期目標年度 (R5(2023)～ R9(2027))	後期計画期間 投資予定額 (億円)	全体事業費 (億円)
1	補助国道	国道140号	桜井ICアクセス	甲府市	バイパス整備	R4(2022)着手	事業促進	47	50
2	補助国道	国道140号	中川橋	南アルプス市	橋梁架替	新規事業着手	事業促進	4	5
3	補助国道	国道411号	和戸ICアクセス	甲府市	バイパス整備	事業促進	事業促進	10	22
4	補助国道	国道358号	遠光寺北交差点外	甲府市	現道拡幅	事業促進	R9(2027)完成	34	40
5	補助国道	国道358号	右左口工区	甲府市	現道拡幅	R1(2019)完成	—	—	8
6	主	甲府昇仙峡線	櫻橋	甲府市・甲斐市	橋梁架替	事業促進	R11(2029)完成	9	13
7	主	韭崎昇仙峡線	神戸	甲斐市	現道拡幅	—	R5(2023)完成	3	4
8	主	韭崎南アルプス富士川線	小笠原橋	南アルプス市	橋梁架替	R2(2020)着手	事業促進	12	15
9	主	甲府中央右左口線	ランプ部・1次アクセス	甲府市	現道拡幅	事業促進	R9(2027)完成	31	31
10	主	甲府中央右左口線	リニア駅北側整備	甲府市	交通結節点整備	事業促進	事業促進	—	65
11	主	甲府中央右左口線	アクセス道路	甲府市	現道拡幅	事業促進	R10(2028)完成	19	24
12	主	甲府昇仙峡線	山宮拡幅Ⅱ期	甲府市	現道拡幅・電線共同溝	事業促進	R10(2028)完成	13	18
13	主	甲府昇仙峡線	長澤橋	甲斐市	橋梁架替	事業促進	R12(2030)完成	20	35
14	主	甲斐早川線	早川・芦安連絡道路	南アルプス市	バイパス整備	事業促進	事業促進	104	230
15	主	甲斐早川線	芦安芦倉	南アルプス市	現道拡幅	事業促進	未定（未公表）	未算定	未算定
16	主	韭崎南アルプス中央線	旭有野バイパス	南アルプス市	バイパス整備	事業促進	R9(2027)完成	20	35
17	主	甲府韭崎線	湯村Ⅱ工区	甲府市	電線共同溝	事業促進	事業促進	6	8
18	主（都）	甲府韭崎線（桜井町敷島線）	島上条工区	甲府市	電線共同溝	新規事業着手	事業促進	6	8
19	主	甲府市川三郷線	西条2期工区	昭和田	歩道設置	事業促進	事業促進	6	7
20	主	甲府市川三郷線	押越工区	昭和田	電線共同溝	事業促進	R9(2027)完成	5	7
21	主	甲府中央右左口線	中小河原工区	甲府市	歩道設置	事業促進	R8(2026)完成	4	9
22	—	天神平甲府線	塚原ICアクセス	甲府市	バイパス整備・電線共同溝	事業促進	R9(2027)完成	40	83
23	—	中下条甲府線	長松寺橋	甲府市	橋梁架替	事業促進	R10(2028)完成	8	28
24	—	愛宕山公園線	岩達工区	甲府市	現道拡幅	R4(2022)着手	R9(2027)完成	5	5
25	—（都）	中下条甲府線（丸の内二丁目電王駅前線）	飯田工区	甲府市	電線共同溝	R2(2020)着手	事業促進	7	9
26	—	甲府精進湖線	下小河原～小瀬町	甲府市	歩道設置	事業促進	事業促進	4	5
27	主	甲府昇仙峡線	竹日向	甲府市	バイパス整備	—	R7(2025)着手	2	15
28	都	和戸町電王線	城東工区・中央五丁目工区	甲府市	バイパス整備・電線共同溝	事業促進	事業促進	17	61
29	都	和戸町電王線	検察庁南交差点	甲府市	現道拡幅・電線共同溝	—	R6(2024)着手	15	15
30	都	高畑町昇仙峡線	2期工区	甲府市	現道拡幅・電線共同溝	R1(2019)着手	事業促進	12	15
31	都	大手二丁目浅原橋線	柳町工区	甲府市	現道拡幅・電線共同溝	事業促進	事業促進	5	21
32	都	大田町蓬沢線外2路線	遠光寺東交差点	甲府市	現道拡幅・電線共同溝	事業促進	事業促進	13	37
33	都	新環状・緑が丘アクセス線	市道定和和田線 ～総合グラウンド入口交差点	甲府市	現道拡幅・電線共同溝	事業促進	事業促進	20	30
34	都	田富町敷島線	富竹2期工区	甲斐市	バイパス整備・電線共同溝	事業促進	R8(2026)完成	9	29
35	都	田富町敷島線	仲新居工区	甲斐市	バイパス整備・電線共同溝	事業促進	R8(2026)完成	8	17
36	都	田富町敷島線	篠原・釜無電共工区	甲斐市	交差点改良・電線共同溝	R2(2020)着手	R8(2026)完成	8	11
37	都	大手二丁目浅原橋線	中央四丁目工区	甲府市	現道拡幅・電線共同溝	R3(2021)着手	事業促進	8	9
38	都	田富町敷島線	釜無Ⅱ期工区・Ⅲ期工区	甲斐市外	電線共同溝	R4(2022)着手	事業促進	15	16
39	都	大手二丁目浅原橋線	緑橋工区	甲府市	現道拡幅・電線共同溝	—	R5(2023)着手	15	15
40	都	田富町敷島線	中下条Ⅱ期工区	甲斐市	現道拡幅・電線共同溝	R4(2022)着手	事業促進	25	26
41	都	滝坂下今井線		甲斐市	電線共同溝	R3(2021)着手	事業促進	8	9
42	都	島上条山宮線		甲斐市	電線共同溝	R3(2021)着手	事業促進	4	6
43	都	桜井町敷島線	千塚工区	甲府市	電線共同溝	R4(2022)着手	事業促進	8	9
44	都	桜井町敷島線	島上条Ⅱ期工区	甲斐市	電線共同溝	R4(2022)着手	事業促進	6	7
45	都	桜井町敷島線	西町工区	甲斐市	電線共同溝	—	R5(2023)着手	7	7
46	都	田富町敷島線	名取電共工区	甲斐市	電線共同溝	R4(2022)着手	事業促進	3	4
47	主	甲府南アルプス線	西八幡工区	甲斐市	電線共同溝	新規事業着手	R9(2027)完成	5	6
48	主	甲府南アルプス線	西八幡Ⅱ期工区	甲斐市	電線共同溝	新規事業着手	事業促進	8	9
49	主	甲府南アルプス線	西八幡Ⅲ期工区	甲斐市	電線共同溝	新規事業着手	事業促進	6	7
50	主	甲斐中央線	飯喰工区	昭和田	電線共同溝	新規事業着手	事業促進	8	9
51	補助国道	国道411号	国玉工区	甲府市	電線共同溝	新規事業着手	事業促進	14	15
52	都	大手二丁目浅原橋線	遠光寺電共工区	甲府市	電線共同溝	—	R5(2023)着手	5	5
53	都	大手二丁目浅原橋線	若松町工区	甲府市	現道拡幅・電線共同溝	—	R7(2025)着手	22	22
54	主	甲府市川三郷線	飯喰～河西工区	昭和田	電線共同溝	新規事業着手	事業促進	6	6
—	補助国道	国道358号	古関外	甲府市	法面対策	事業促進	事業促進	24	26
—	補助国道	国道358号	梯外	甲府市	法面対策	事業促進	事業促進	8	11
—	補助国道	国道358号外	芦川大橋外	甲府市外	橋梁補修	事業促進	事業促進	7	11
—	補助国道	国道358号外	右左口隧道外	甲府市外	トンネル補修	事業促進	事業促進	4	6
—	補助国道	国道140号外	無名11号橋外	甲府市外	橋梁補修補強	事業促進	R9(2027)完成	1	2
—	主	韭崎南アルプス中央線	豊積橋	中央市	橋梁補修補強	事業促進	R9(2027)完成	10	14
—	主	韭崎南アルプス中央線	豊積橋	中央市	歩道設置	新規事業着手	事業促進	7	7
—	主	甲府昇仙峡線外	上帯那町外	甲府市外	法面対策	事業促進	事業促進	8	11
—	主	甲府昇仙峡線外	竹日向町外	甲府市外	法面対策	事業促進	事業促進	7	11
—	主	甲府山梨線外	甲府跨線橋外	甲府市外	橋梁補修	事業促進	事業促進	7	10
—	主	甲斐早川線外	下瀬口隧道外	甲府市外	トンネル補修	事業促進	事業促進	3	5
—	主	甲府韭崎線外	水道橋外	甲府市外	橋梁耐震補強	事業促進	R9(2027)完成	10	15
—	主	甲斐早川線	芦安芦倉	南アルプス市	法面対策	—	事業促進	—	10
—	主	笛吹市川三郷線	古関町	甲府市	法面対策	—	事業促進	—	7
—	—	敷島電王線外	亀沢外	甲斐市外	法面対策	事業促進	事業促進	10	11
—	—	敷島電王線外	亀沢外	甲斐市外	法面対策	事業促進	事業促進	7	11
—	—	川窪猪狩線外	桃の木沢橋外	甲府市外	橋梁補修	事業促進	事業促進	7	10
—	—	川窪猪狩線外	大渡隧道外	甲府市外	トンネル補修	事業促進	事業促進	1	2
—	—	天神平甲府線外	西沢橋外	甲府市外	橋梁耐震補強	事業促進	R9(2027)完成	1	2

※災害防除・老朽化対策については、箇所が多いため位置図には未掲載としております。

(2) 峡北



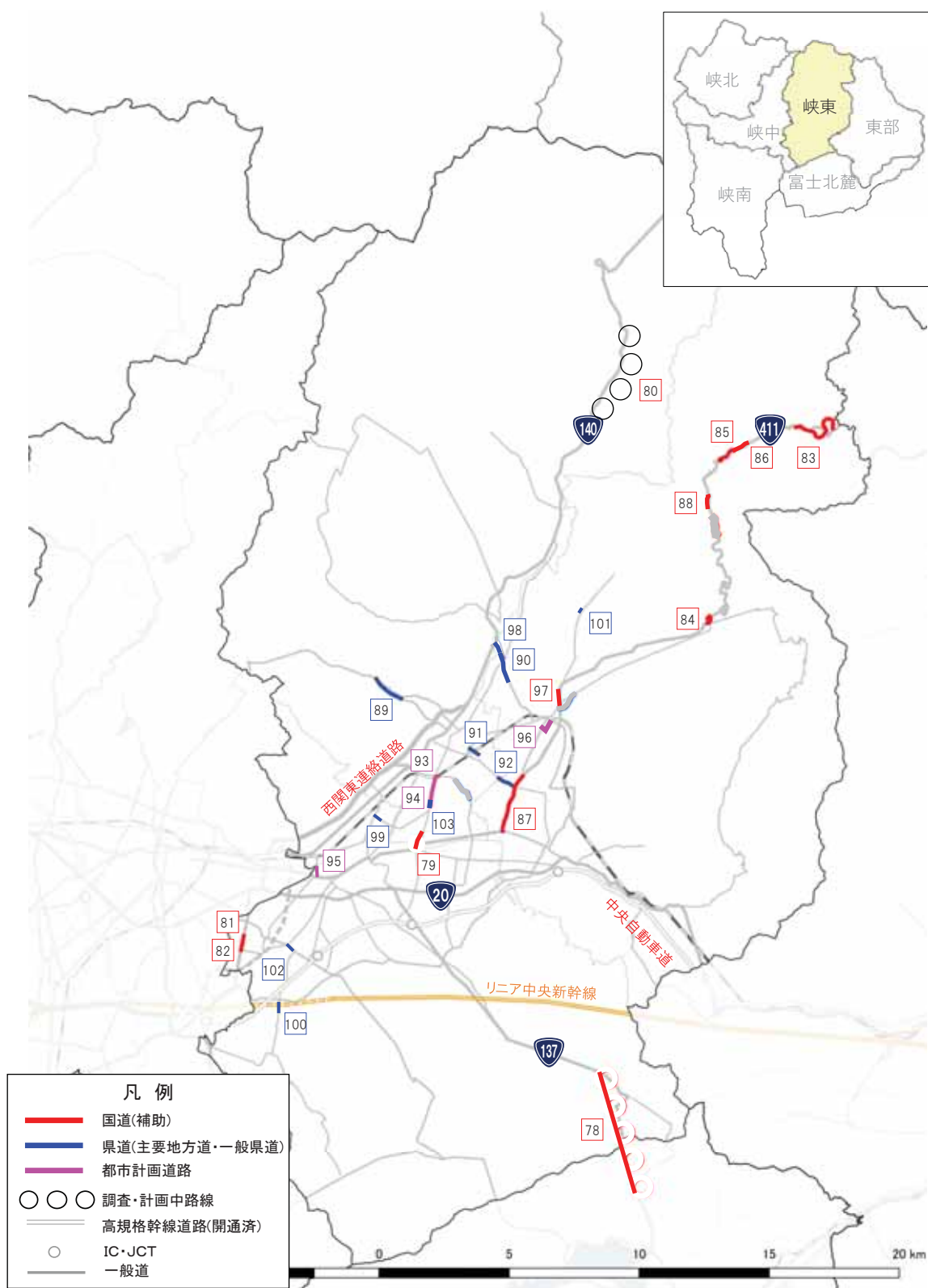
■ 事業箇所一覧

峡北

図面 番号	道路種別	路線名	工区名	市町村	事業概要	前期目標年度 (R1(2019)～ R4(2022))	後期目標年度 (R5(2023)～ R9(2027))	後期計画期間 投資予定額 (億円)	全体事業費 (億円)
55	補助国道	国道141号	小田川工区	韭崎市	現道拡幅・電線共同溝	新規事業着手	R9(2027)完成	5	7
56	補助国道	国道141号外	中部横断(長坂以北関連)	北杜市	バイパス整備	—	未定	未算定	未算定
57	補助国道	国道141号	長沢交差点	北杜市	交差点改良	R2(2020)完成	—	—	9
58	主	茅野北杜韭崎線	長坂上条	北杜市	バイパス整備	R1(2019)着手	R9(2027)完成	16	20
59	主	長坂高根線	村山東割	北杜市	現道拡幅	R2(2020)着手	R9(2027)完成	5	6
60	主	韭崎南アルプス中央線	旭有野バイパス	韭崎市	バイパス整備	事業促進	R9(2027)完成	13	20
61	主	茅野北杜韭崎線	新府バイパス	韭崎市	バイパス整備	事業促進	R7(2025)完成	6	9
62	主	韭崎昇仙峡線	宮久保拡幅	韭崎市	現道拡幅	事業促進	R7(2025)完成	3	11
63	主	韭崎南アルプス中央線	入戸野拡幅	韭崎市	橋梁架替	—	R5(2023)着手	4	7
64	主	北杜富士見線	清里工区	北杜市	電線共同溝	—	新規事業着手	2	2
65	主	北杜富士見線	小瀬沢工区	北杜市	電線共同溝	—	新規事業着手	3	3
66	—	横手日野春停車場線	駒城橋	北杜市	橋梁架替	事業促進	R10(2028)完成	10	13
67	—	甘利山公園線	若尾新田	韭崎市	現道拡幅	事業促進	R7(2025)完成	3	5
68	—	日野春停車場線	鯨バイパス	北杜市	バイパス整備	事業促進	事業促進	8	15
69	—	北原下条南割線	羽根工区	韭崎市	現道拡幅	事業促進	R11(2029)完成	4	12
70	—	小荒間長坂停車場線	JA小泉支所前交差点	北杜市	交差点改良	事業促進	事業促進	9	11
71	都	韭崎本町通線	水神工区	韭崎市	電線共同溝	—	R5(2023)着手	5	5
72	—	甘利山公園線	若尾工区	韭崎市	現道拡幅	—	R6(2024)着手	5	6
73	—	箕輪須玉線	二日市場バイパス	北杜市	バイパス整備	R1(2019)着手	R7(2025)完成	3	5
74	主	韭崎増富線	江草	北杜市	バイパス整備	事業促進	R8(2026)完成	11	15
75	—	箕輪須玉線	下津金	北杜市	現道拡幅	—	R7(2025)着手	3	5
76	主	韭崎昇仙峡線	宮久保拡幅Ⅱ期	北杜市	現道拡幅	—	R7(2025)着手	2	6
77	主	長坂高根線	清光寺坂上交差点	北杜市	交差点改良	R1(2019)着手	R8(2026)完成	3	5
—	補助国道	国道141号	高根町	北杜市	法面对策	事業促進	事業促進	8	10
—	補助国道	国道141号	高根町	北杜市	法面对策	事業促進	事業促進	7	10
—	補助国道	国道141号	月の木上橋外	北杜市	橋梁補修	事業促進	事業促進	5	7
—	補助国道	国道141号	七里岩トンネル外	韭崎市外	トンネル補修	事業促進	事業促進	1	2
—	補助国道	国道141号	不動橋外	韭崎市外	橋梁耐震補強	事業促進	R9(2027)完成	1	2
—	主	北杜富士見線	大泉町外	北杜市	法面对策	事業促進	事業促進	1	7
—	主	北杜ハヶ岳公園線外	高根町五町田外	北杜市外	法面对策	事業促進	事業促進	2	5
—	主	北杜ハヶ岳公園線外	清里トンネル外	北杜市外	トンネル補修	事業促進	事業促進	1	2
—	主	北杜富士見線外	東沢橋外	北杜市外	橋梁補修	事業促進	事業促進	4	6
—	主	韭崎増富線	須玉町外	北杜市	法面对策	事業促進	事業促進	1	7
—	主	韭崎増富線外	南沢橋外	北杜市外	橋梁耐震補強	事業促進	R9(2027)完成	2	7
—	—	増富若神子線	須玉町外	北杜市	法面对策	事業促進	事業促進	1	6
—	—	原浅尾韭崎線外	須玉町小尾外	北杜市外	法面对策	事業促進	事業促進	3	5
—	—	日野春停車場線	高根町下黒沢	北杜市	法面对策	事業促進	事業促進	3	5
—	—	武田八幡神社線外	武田橋外	韭崎市外	橋梁補修	事業促進	事業促進	4	6
—	—	日野春停車場線外	和田トンネル外	北杜市外	トンネル補修	事業促進	事業促進	2	4
—	—	長沢小瀬沢線外	鳩橋外	北杜市外	橋梁耐震補強	事業促進	R9(2027)完成	3	5
—	—	穴山停車場線	穴山町	韭崎市	法面对策	—	R10(2028)完成	3	4
—	—	箕輪須玉線	須玉町外	北杜市	法面对策	事業促進	事業促進	1	7

※災害防除・老朽化対策については、箇所が多いため位置図には未掲載としております。

(3) 峡東



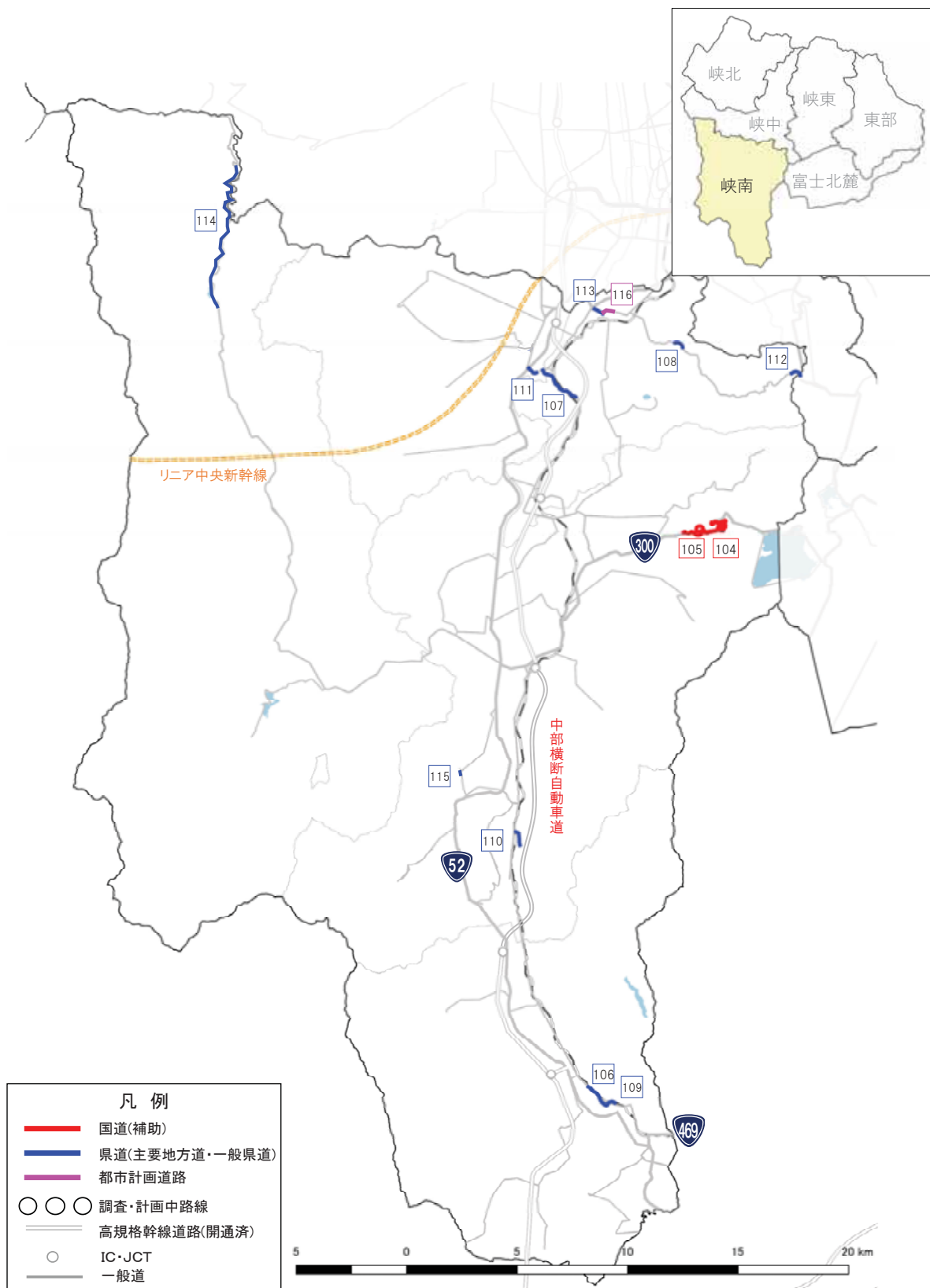
■ 事業箇所一覧

峡東

図面 番号	道路種別	路線名	工区名	市町村	事業概要	前期目標年度 (R1(2019)～ R4(2022))	後期目標年度 (R5(2023)～ R9(2027))	後期計画期間 投資予定額 (億円)	全体事業費 (億円)
78	補助国道	国道137号（甲府富士北麓連絡道路）	河口～藤野木区間	富士河口湖町・笛吹市	バイパス整備	新規事業着手	事業促進	10	372
79	補助国道	国道411号	日川橋	山梨市・笛吹市	バイパス整備・橋梁架替	—	新規事業着手	—	—
80	補助国道	国道140号	三富道路	山梨市	未定	—	未定	—	—
81	補助国道	国道140号	東高橋～井戸	笛吹市	歩道設置	事業促進	事業促進	5	7
82	補助国道	国道140号	東高橋～誠心幼稚園 入口	笛吹市	電線共同溝・歩道設置	事業促進	事業促進	7	8
83	補助国道	国道411号	一之瀬高橋改築Ⅱ期	甲州市	バイパス整備	新規事業着手	事業促進	48	75
84	補助国道	国道411号	裂石	甲州市	現道拡幅	事業促進	事業促進	6	8
85	補助国道	国道411号	御屋敷拡幅	甲州市	現道拡幅	事業促進	R5(2027)完成	1	6
86	補助国道	国道411号	御屋敷拡幅Ⅱ期	甲州市	現道拡幅	R4(2022)着手	R13(2031)完成	3	5
87	補助国道	国道411号	勝沼拡幅	甲州市	現道拡幅・電線共同溝	事業促進	事業促進	2	46
88	補助国道	国道411号	柳沢峠	甲州市	現道拡幅	—	R14(2032)完成	3	5
89	主	甲府山梨線	八幡バイパスⅡ期	山梨市	バイパス整備	事業促進	R10(2028)完成	4	10
90	主	塩山勝沼線	塩山三日市場工区	甲州市	交差点改良・電線共同溝	R4(2022)着手	事業促進	6	12
91	—	休息山梨線	東山梨跨線橋	山梨市	バイパス整備	R3(2021)着手	事業促進	10	30
92	—	休息山梨線	勝沼町山工区	甲州市	橋梁架替・現道拡幅	事業促進	R6(2024)完成	2	7
93	都	山梨市駅南線	1期工区	山梨市	現道拡幅・電線共同溝	事業促進	事業促進	29	30
94	都	山梨市駅南線	2期工区	山梨市	現道拡幅・電線共同溝	—	R5(2023)着手	20	20
95	都	石和温泉駅前線	電共Ⅰ期工区	笛吹市	電線共同溝	R4(2022)着手	事業促進	3	4
96	都	塩山駅下於曽線・上塩後下赤尾線		甲州市	バイパス整備・電線共同溝	—	R7(2025)着手	40	40
97	補助国道	国道411号	塩山千野工区	甲州市	電線共同溝	—	R5(2023)着手	8	9
98	主	塩山勝沼線	塩山小屋敷工区	甲州市	電線共同溝	—	R5(2023)着手	5	5
99	—	下神内川石和温泉停車場線	桑戸工区	笛吹市	電線共同溝	—	新規事業着手	4	4
100		藤生石和線	石橋工区	笛吹市	電線共同溝	—	新規事業着手	10	10
101	—	平沢千野線	福生里工区	甲州市	現道拡幅	—	R5(2023)着手	2	8
102	主	甲府笛吹線	（仮称）小石和ICアクセス	笛吹市	現道拡幅	—	R7(2025)着手	30	92
103	—	山梨市駅停車場線	下石森工区	山梨市	現道拡幅	—	R5(2023)着手	3	9
—	補助国道	国道140号	西沢大橋	山梨市	橋梁補修補強	事業促進	R9(2027)完成	14	23
—	補助国道	国道140号外	三富川浦外	山梨市外	法面对策	事業促進	事業促進	10	13
—	補助国道	国道137号外	唐沢橋外	笛吹市外	橋梁補修	事業促進	事業促進	5	9
—	補助国道	国道137号外	新御坂トンネル外	笛吹市外	トンネル補修	事業促進	事業促進	4	6
—	補助国道	国道411号外	第一愛宕橋外	笛吹市外	橋梁補修補強	事業促進	R9(2027)完成	2	5
—	補助国道	国道411号	塩山外	甲州市	法面对策	事業促進	事業促進	3	8
—	主	甲府山梨線	水口外	山梨市	法面对策	事業促進	事業促進	2	6
—	主	笛吹市川三郷線外	八代町竹居外	笛吹市外	法面对策	事業促進	事業促進	15	16
—	主	笛吹市川三郷線外	芦川町鶯宿	笛吹市外	法面对策	事業促進	事業促進	13	16
—	主	白井甲州線外	田垂川橋外	笛吹市外	橋梁補修	事業促進	事業促進	6	8
—	主	笛吹市川三郷線外	新島坂トンネル外	笛吹市外	トンネル補修	事業促進	事業促進	1	2
—	主	白井甲州線外	西広門田橋外	甲州市外	橋梁補修補強	事業促進	R9(2027)完成	3	5
—	—	山梨笛吹線	四ノ橋	笛吹市	橋梁補修補強	事業促進	R8(2026)完成	5	11
—	—	石和温泉停車場線	鵜飼橋	笛吹市	橋梁補修補強	事業促進	R7(2025)完成	3	5
—	—	塩山停車場大菩薩嶺線外	塩山上於曽外	甲州市外	法面对策	事業促進	事業促進	16	18
—	—	塩山停車場大菩薩嶺線外	塩山上於曽外	甲州市外	法面对策	事業促進	事業促進	14	18
—	—	万力小屋敷線外	根津橋外	山梨市外	橋梁補修	事業促進	事業促進	6	8
—	—	富士河口湖笛吹線外	御坂隧道外	笛吹市外	トンネル補修	事業促進	事業促進	1	2
—	—	大菩薩初鹿野線外	塩山外	甲州市外	法面对策	事業促進	事業促進	1	5
—	—	柳平塩山線外	牧丘町外	山梨市	法面对策	事業促進	事業促進	2	6
—	—	下神内川石和温泉停車場線外	無名5号橋	笛吹市外	橋梁補修補強	事業促進	R9(2027)完成	3	5

※災害防除・老朽化対策については、箇所が多いため位置図には未掲載としております。

(4) 峡南



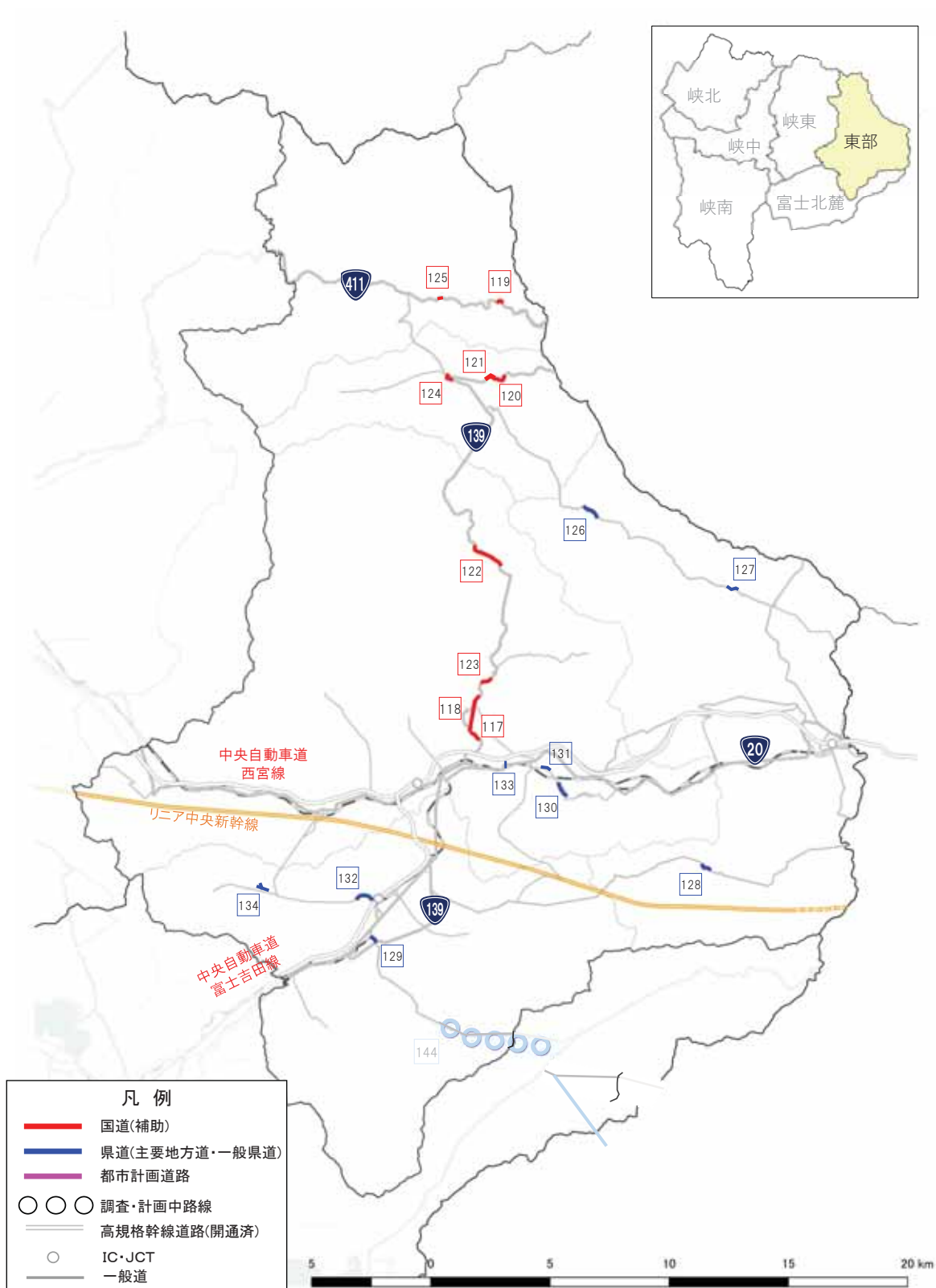
■ 事業箇所一覧

峽南

図面 番号	道路種別	路線名	工区名	市町村	事業概要	前期目標年度 (R1(2019)～ R4(2022))	後期目標年度 (R5(2023)～ R9(2027))	後期計画期間 投資予定額 (億円)	全体事業費 (億円)
104	補助国道	国道300号	中之倉バイパス (Ⅱ・Ⅲ期)	身延町	バイパス整備・現道拡幅	事業促進	事業促進	—	—
105	補助国道	国道300号	中之倉バイパス	身延町	バイパス整備	R4(2022)完成	—	—	121
106	主	富士川身延線	井出(Ⅱ期)	南部町	現道拡幅	R2(2020)着手	事業促進	6	8
107	主	市川三郷身延線	黒沢バイパス	市川三郷町	バイパス整備	R1(2019)完成	—	—	29
108	主	笛吹市川三郷線	畑熊	市川三郷町	バイパス整備	事業促進	R9(2027)完成	11	15
109	主	富士川身延線	井出	南部町	現道拡幅	事業促進	R5(2027)完成	1	7
110	主	富士川身延線	身延山ICアクセス	身延町	バイパス整備	R3(2021)完成	—	—	27
111	主	市川三郷富士川線	富士橋	富士川町	橋梁架替	事業促進	R8(2026)完成	16	67
112	主	笛吹市川三郷線	下芦川工区	笛吹市・甲府市	現道拡幅	R1(2019)完成	—	—	6
113	主	市川三郷富士川線	市川大門	市川三郷町	現道拡幅	R2(2020)着手	R8(2026)完成	4	5
114	主	南アルプス公園線	奈良田	早川町	現道拡幅	新規事業着手	R5(2023)着手	5	9
115	—	身延線	2・3工区	身延町	電線共同溝	—	新規事業着手	8	8
116	都	大門桃林線		市川三郷町	現道拡幅・電線共同溝	—	R5(2023)着手	20	20
—	補助国道	国道300号外	中之倉外	身延町外	法面对策	事業促進	事業促進	16	19
—	補助国道	国道300号外	長塩大橋外	身延町外	橋梁補修	事業促進	事業促進	2	5
—	補助国道	国道300号外	くるみトンネル外	身延町外	トンネル補修	事業促進	事業促進	5	6
—	主	笛吹市川三郷町	下芦川外	市川三郷町	法面对策	事業促進	事業促進	3	5
—	主	南アルプス公園線外	湯島外	早川町	法面对策	事業促進	事業促進	14	16
—	主	南アルプス公園線外	小縄外	早川町	法面对策	事業促進	事業促進	12	16
—	主	南アルプス公園線	栗倉外	身延町	法面对策	事業促進	事業促進	6	11
—	主	市川三郷身延線外	押出川橋外	市川三郷町外	橋梁補修	事業促進	事業促進	2	5
—	主	南アルプス公園線外	明川トンネル外	早川町外	トンネル補修	事業促進	事業促進	1	2
—	主	富士川身延線外	大久保沢橋外	身延町外	橋梁耐震補強	事業促進	R9(2027)完成	7	9
—	主	富士川身延線	内船外	南部町外	法面对策	事業促進	R10(2028)完成	2	5
—	—	割子切石線外	宮沢外	身延町外	法面对策	事業促進	事業促進	33	40
—	—	四尾連湖公園線	山保外	市川三郷町	法面对策	事業促進	事業促進	3	3
—	—	下部飯富線	飯富外	身延町	法面对策	事業促進	事業促進	1	5
—	—	平林青柳線	平林外	富士川町	法面对策	事業促進	事業促進	3	4
—	—	高下鯉沢線	高下外	富士川町	法面对策	事業促進	事業促進	2	3
—	—	遅沢静川線外	大陸橋外	身延町外	橋梁補修	事業促進	事業促進	3	5
—	—	下部飯富線外	鳩打隧道外	身延町外	トンネル補修	事業促進	事業促進	1	2

※災害防除・老朽化対策については、箇所が多いため位置図には未掲載としております。

(5) 東部



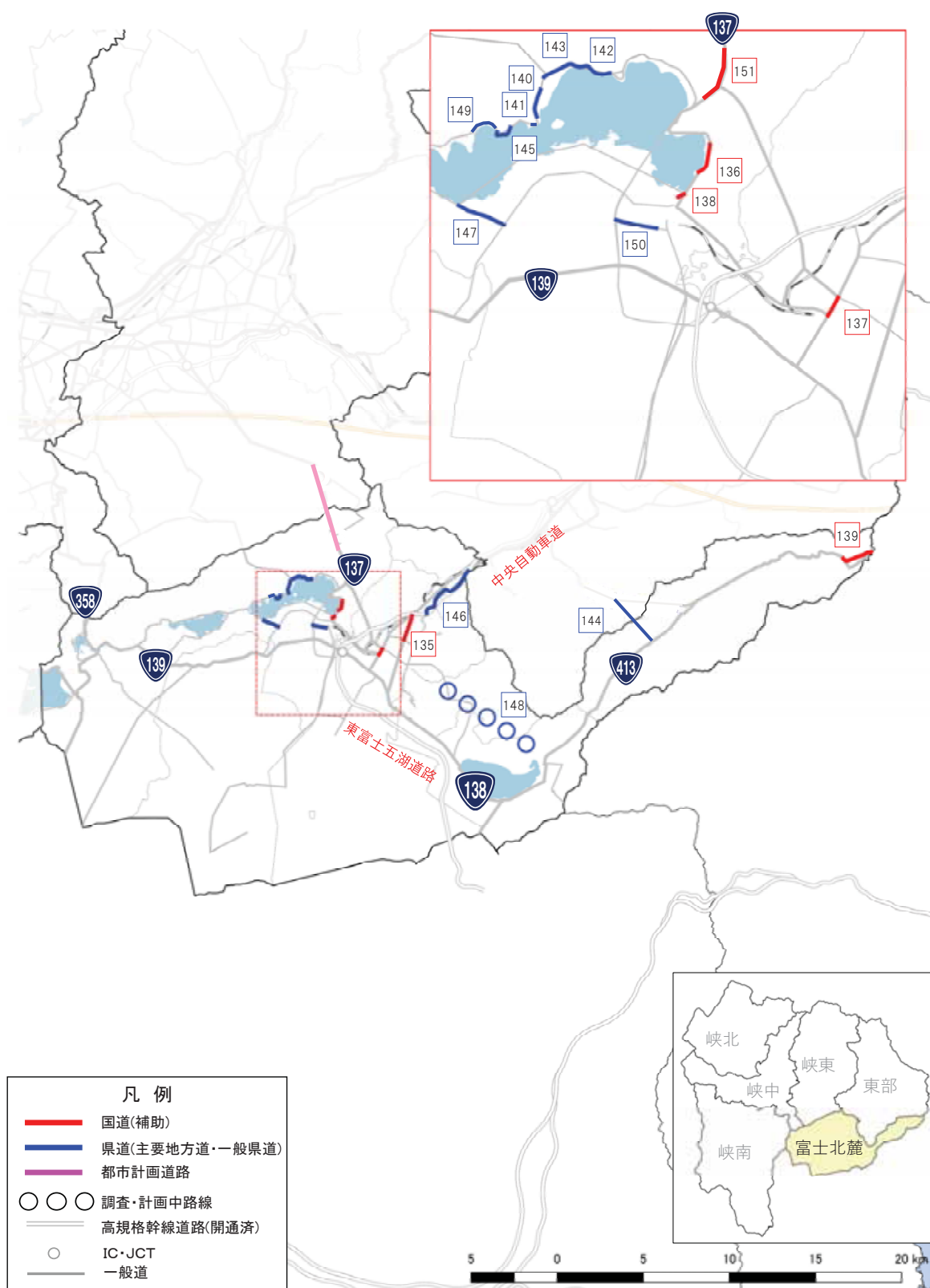
■ 事業箇所一覧

東部

図面 番号	道路種別	路線名	工区名	市町村	事業概要	前期目標年度 (R1(2019)～ R4(2022))	後期目標年度 (R5(2023)～ R9(2027))	後期計画期間 投資予定額 (億円)	全体事業費 (億円)
117	補助国道	国道139号	岩殿拡幅	大月市	現道拡幅	新規事業着手	R12(2030)完成	6	8
118	補助国道	国道139号	畑倉バイパス	大月市	バイパス整備	新規事業着手	R14(2032)完成	15	35
119	補助国道	国道411号	親川橋	丹波山村	橋梁架替	R2(2020)完成	—	—	6
120	補助国道	国道139号	余沢拡幅	小菅村	現道拡幅	R4(2022)完成	—	—	9
121	補助国道	国道139号	余沢拡幅Ⅱ期	小菅村	橋梁架替	新規事業着手	R10(2028)完成	4	5
122	補助国道	国道139号	上和田ＢＰ	大月市	バイパス整備	事業促進	R10(2028)完成	9	57
123	補助国道	国道139号	下瀬戸拡幅	大月市	現道拡幅	事業促進	R8(2026)完成	6	9
124	補助国道	国道139号	小菅橋	小菅村	橋梁架替	R3(2021)完成	—	—	9
125	補助国道	国道411号	落滝	丹波山村	バイパス整備	事業促進	R6(2024)完成	1	5
126	主	上野原丹波山線	飯尾ＢＰ	上野原市	バイパス整備	事業促進	事業促進	8	16
127	主	上野原丹波山線	大垣外Ⅱ期	上野原市	現道拡幅	R4(2022)着手	R9(2027)完成	6	6
128	主	四日市場上野原線	寺下工区	上野原市	現道拡幅	事業促進	R9(2027)完成	6	9
129	主	都留道志線	上谷工区	都留市	歩道設置	事業促進	R6(2024)完成	2	6
130	—	梁川猿橋線	太田バイパス	大月市	バイパス整備	事業促進	R7(2025)完成	4	9
131	—	梁川猿橋線	伊良原工区	大月市	現道拡幅	R4(2022)着手	R9(2027)完成	4	5
132	—	高畑谷村停車場線	宝バイパス	都留市	バイパス整備	R1(2019)完成 (バイパス)	R7(2025)完成	6	21
133	—	猿橋停車場線	殿上	大月市	バイパス整備	—	R6(2024)着手	6	9
134	—	大幡初狩線	大幡	都留市	バイパス整備	—	R7(2025)着手	3	9
—	補助国道	国道139号外	七保町外	大月市外	法面对策	事業促進	事業促進	11	14
—	補助国道	国道411号	鴨沢外	丹波山村	法面对策	事業促進	事業促進	4	8
—	補助国道	国道411号	大常木外	丹波山村	法面对策	事業促進	事業促進	5	7
—	補助国道	国道139号外	高月橋外	大月市外	橋梁補修	事業促進	事業促進	5	7
—	補助国道	国道139号外	深城トンネル外	大月市外	トンネル補修	事業促進	事業促進	2	3
—	補助国道	国道411号外	無名6号橋外	丹波山村外	橋梁耐震補強	事業促進	R9(2027)完成	3	8
—	主	上野原丹波山線	桐原外	上野原市	法面对策	事業促進	事業促進	7	12
—	主	四日市場上野原線外	宮川橋外	都留市外	橋梁補修	事業促進	事業促進	4	6
—	主	四日市場上野原線外	新雛鶴トンネル外	都留市外	トンネル補修	事業促進	事業促進	2	3
—	主	上野原丹波山線外	無名4号橋外	丹波山村外	橋梁耐震補強	事業促進	R9(2027)完成	4	10
—	主	四日市場上野原外	上野原外	上野原市外	法面对策	事業促進	事業促進	5	7
—	—	金山大月線外	賑岡町奥山外	大月市外	法面对策	事業促進	事業促進	7	10
—	—	日影笹子線外	村上橋外	大月市外	橋梁補修	事業促進	事業促進	4	6
—	—	桐原藤野線外	桐原トンネル外	上野原市外	トンネル補修	事業促進	事業促進	1	2
—	—	桑西下真木線外	小佐野橋外	大月市外	橋梁補修補強	事業促進	R9(2027)完成	1	2

※災害防除・老朽化対策については、箇所が多いため位置図には未掲載としております。

(6) 富士北麓

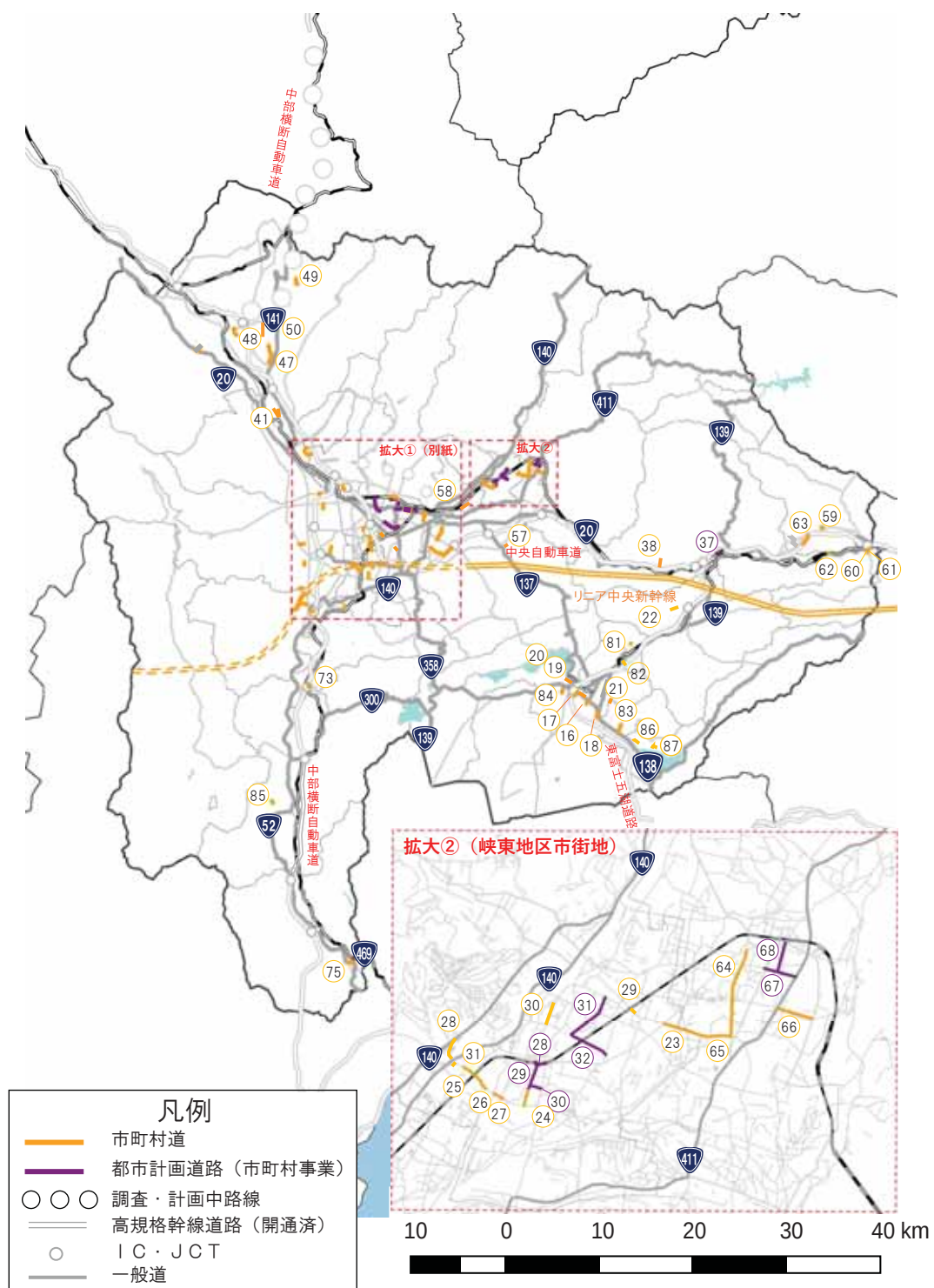


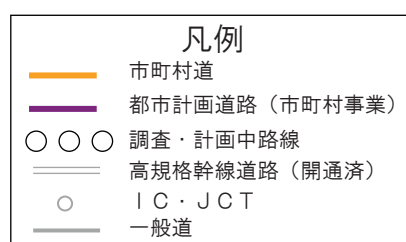
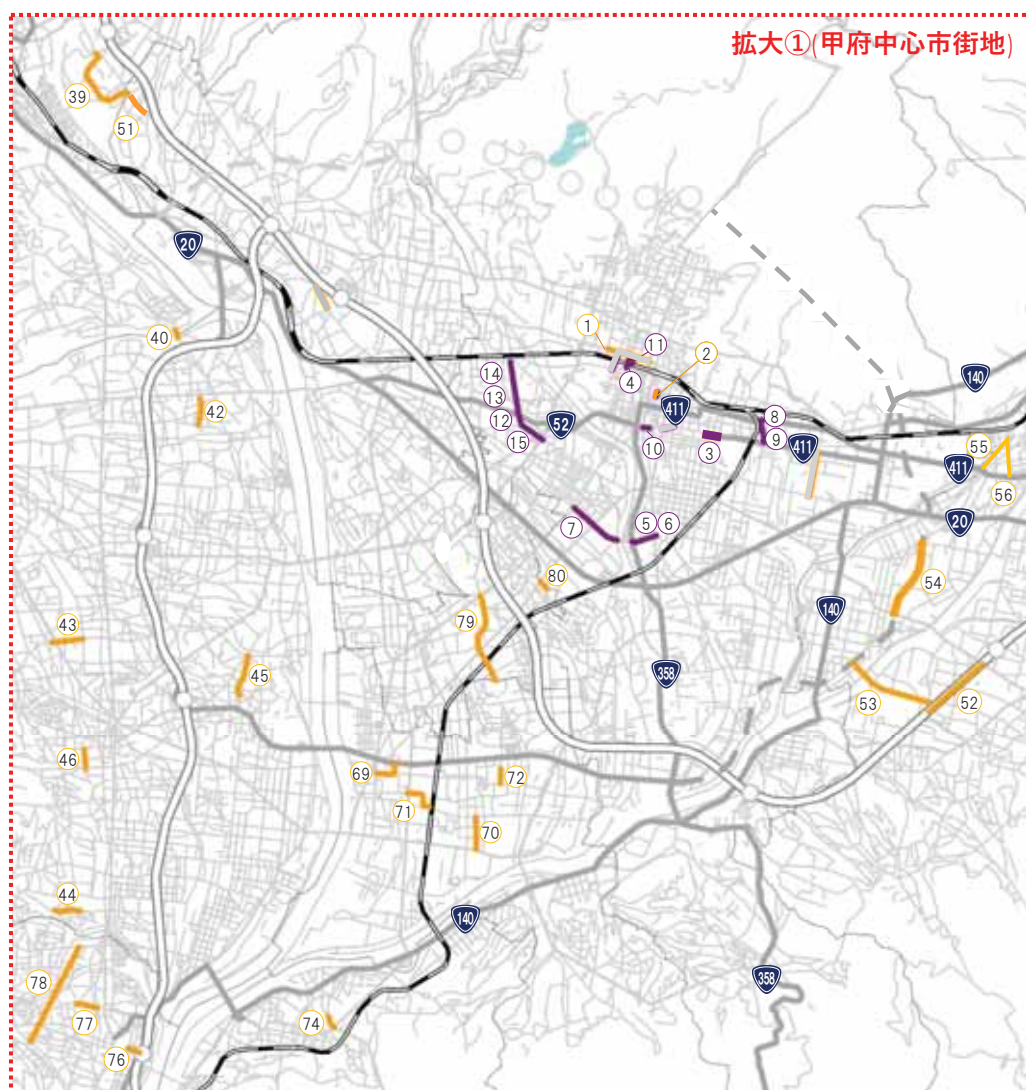
■ 事業箇所一覧

富士北麓

図面 番号	道路種別	路線名	工区名	市町村	事業概要	前期目標年度 (R1(2019)～ R4(2022))	後期目標年度 (R5(2023)～ R9(2027))	後期計画期間 投資予定額 (億円)	全体事業費 (億円)
135	補助国道	国道139号	下吉田Ⅱ期工区	富士吉田市	電線共同溝	事業促進	R8(2026)完成	4	8
136	補助国道	国道137号	浅川工区	富士河口湖町	電線共同溝	事業促進	R9(2027)完成	5	7
137	補助国道	国道139号	中曽根工区	富士吉田市	電線共同溝・歩道設置	事業促進	R9(2027)完成	14	24
138	補助国道	国道137号	船津商店街工区	富士河口湖町	歩道設置	事業促進	事業促進	4	9
139	補助国道	国道413号	道志B P	道志村	バイパス整備	事業促進	事業促進	36	61
140	主	河口湖精進線	桑崎工区	富士河口湖町	現道拡幅	R4(2022)完成	R13(2031)完成	4	8
141	主	河口湖精進線	扇崎工区	富士河口湖町	現道拡幅	事業促進	R9(2027)完成	6	13
142	主	河口湖精進線	大石工区	富士河口湖町	現道拡幅	事業促進	R7(2025)完成	3	7
143	主	河口湖精進線	大石工区	富士河口湖町	電線共同溝・歩道設置	R2(2020)完成	—	—	6
144	主	都留道志線	新道坂トンネル	都留市・道志村	バイパス整備	新規事業着手	R7(2025)完成	6	127
145	主	河口湖精進線	河口	富士河口湖町	電線共同溝	—	新規事業着手	5	5
146	—	富士吉田西桂線	上暮地バイパス	富士吉田市	バイパス整備	事業促進	R8(2026)完成	4	24
147	—	青木ヶ原船津線	足和田バイパス	富士河口湖町	バイパス整備	R2(2020)着手	R9(2027)完成	37	40
148	—	山中湖忍野富士吉田線	一市二村	忍野村・山中湖村	バイパス整備	未定	未定	未算定	未算定
149	主	河口湖精進線	扇崎トンネル～新寺崎トンネル	富士河口湖町	現道拡幅	—	R7(2025)着手	2	7
150	—	富士河口湖富士線	船津工区	富士河口湖町	電線共同溝	事業促進	R7(2025)完成	2	6
151	補助国道	国道137号	河口工区	富士河口湖町	電線共同溝	新規事業着手	事業促進	7	8
—	補助国道	国道413号外	平野外	山中湖村外	法面对策	事業促進	事業促進	4	5
—	補助国道	国道413号外	平野外	山中湖村外	法面对策	事業促進	事業促進	2	5
—	補助国道	国道413号	神地外	道志村	法面对策	事業促進	事業促進	3	5
—	補助国道	国道413号外	大室橋外	道志村外	橋梁補修	事業促進	事業促進	1	2
—	補助国道	国道137号外	山宮トンネル外	富士河口湖町外	トンネル補修	事業促進	事業促進	1	2
—	補助国道	国道413号外	茸沢橋外	道志村外	橋梁補修補強	事業促進	R9(2027)完成	1	2
—	補助国道	国道358号	精進外	富士河口湖町	法面对策	事業促進	R7(2025)完成	3	5
—	主	河口湖精進線	河口外	富士河口湖町	法面对策	事業促進	事業促進	2	5
—	主	都留道志線外	無名9号橋外	道志村外	橋梁補修	事業促進	事業促進	1	2
—	主	河口湖精進線外	馬場川橋外	富士河口湖町外	橋梁補修	事業促進	事業促進	1	2
—	主	河口湖精進線外	長浜トンネル外	富士河口湖町外	トンネル補修	事業促進	事業促進	1	2
—	主	河口湖精進線外	三沢川橋外	富士河口湖町外	橋梁補修補強	事業促進	R9(2027)完成	1	2
—	—	富士上吉田線	上吉田外	富士吉田市外	法面对策	事業促進	R10(2028)完成	25	26
—	—	富士上吉田線外	上吉田外	富士吉田市外	法面对策	事業促進	事業促進	23	26
—	—	富士河口湖富士線外	河口湖大橋外	富士河口湖町外	橋梁補修	事業促進	事業促進	1	3
—	—	精進湖畔線外	宇の岬トンネル外	富士河口湖町外	トンネル補修	事業促進	事業促進	1	2
—	—	山中湖忍野富士吉田線外	無名1号橋外	山中湖村外	橋梁補修補強	事業促進	R9(2027)完成	1	2

※災害防除・老朽化対策については、箇所が多いため位置図には未掲載としております。





■ 事業箇所一覧

市町村道・街路（市）

図面 番号	道路種別	路線名	工区名	市町村	事業概要	前期目標年度 (R1(2019)～ R4(2022))	後期目標年度 (R5(2023)～ R9(2027))	後期計画期間 投資予定額 (億円)	全体事業費 (億円)
1	市町村道	朝日荒川線	朝日二・三丁目	甲府市	電線共同溝	—	R6(2024)着手	—	—
2	市町村道	紅梅北通り線	丸の内一丁目	甲府市	現道拡幅・電線共同溝	事業促進	R6(2024)完成	2	7
3	街路（市）	和吉町童王線	朝気一丁目	甲府市	電線共同溝	—	未定	—	—
4	街路（市）	朝日町通り線	—	甲府市	現道拡幅・電線共同溝	—	未定	—	—
5	街路（市）	城東三丁目敷島線	伊勢工区Ⅰ期	甲府市	バイパス整備・電線共同溝	R3(2021)完成	事業促進	—	—
6	街路（市）	城東三丁目敷島線	伊勢工区Ⅱ期	甲府市	バイパス整備・電線共同溝	—	未定	—	—
7	街路（市）	城東三丁目敷島線	国母工区	甲府市	バイパス整備・電線共同溝	—	未定	—	—
8	街路（市）	住吉四丁目善光寺線	善光寺工区Ⅰ期	甲府市	バイパス整備	R4(2022)完成	事業促進	—	—
9	街路（市）	住吉四丁目善光寺線	善光寺工区Ⅱ期	甲府市	バイパス整備	—	未定	—	—
10	街路（市）	和戸町電王線	中央一丁目	甲府市	現道拡幅・電線共同溝	—	未定	—	—
11	街路（市）	甲府駅周辺土地区画整理10号線	丸の内一丁目・朝日一丁目	甲府市	道路新設	—	未定	—	—
12	街路（市）	高畑町昇仙峽線	池田工区Ⅰ期	甲府市	現道拡幅	R4(2022)完成	事業促進	—	—
13	街路（市）	高畑町昇仙峽線	池田工区Ⅱ期	甲府市	現道拡幅	—	未定	—	—
14	街路（市）	高畑町昇仙峽線	池田工区Ⅲ期	甲府市	現道拡幅	—	未定	—	—
15	街路（市）	高畑町昇仙峽線	富竹西工区	甲府市	バイパス整備	—	未定	—	—
16	市町村道	諏訪内1号線	上吉田地内	富士吉田市	現道拡幅	事業促進	R8(2026)完成	1	2
17	市町村道	大松宮川西線	大松宮川西線	富士吉田市	現道拡幅	—	未定	1	3
18	市町村道	（仮称）小倉山団地西道路	新屋地内	富士吉田市	バイパス整備	—	未定	3	4
19	市町村道	赤坂支線	新倉地内	富士吉田市	現道拡幅	—	R6(2024)完成	1	3
20	市町村道	赤坂支線	新倉地内（第2期）	富士吉田市	現道拡幅	—	R9(2027)完成	2	2
21	市町村道	明見東通り線	大明見地内	富士吉田市	現道拡幅	—	R9(2027)完成	2	2
22	市町村道	栄町長者町線支線3号	厚原牛石地区	都留市	橋梁耐震補強・修繕・現道拡幅	事業促進	R8(2026)完成	5	5
23	市町村道	小原東東後屋線	—	山梨市	バイパス整備	事業促進	R8(2026)完成	1	4
24	市町村道	加納岩小学校西通り線	—	山梨市	バイパス整備	—	R9(2027)完成	3	4
25	市町村道	落合正徳寺線	—	山梨市	バイパス整備	R2(2020)完成	—	—	20
26	市町村道	正徳寺下神内川線	神徳橋	山梨市	橋梁耐震・耐荷・修繕・歩道拡幅	事業促進	R5(2023)完成	3	4
27	市町村道	正徳寺下神内川線	神徳橋（第2期）	山梨市	橋梁耐震・耐荷・修繕・歩道拡幅	—	R9(2027)完成	3	3
28	市町村道	14009号線	—	山梨市	現道拡幅	—	R9(2027)完成	2	2
29	市町村道	小原東東後屋線	東山梨駅周辺	山梨市	現道拡幅	—	R9(2027)完成	2	2
30	市町村道	山梨市駅東山梨線	—	山梨市	歩道整備	—	R9(2027)完成	1	1
31	市町村道	市道14134号線	—	山梨市	現道拡幅	—	R8(2026)完成	1	1
32	街路（市）	加納岩小学校西通り線	Ⅰ期工区	山梨市	現道拡幅・電線共同溝	事業促進	R7(2025)完成	1	25
33	街路（市）	加納岩小学校西通り線	Ⅱ期工区	山梨市	現道拡幅・電線共同溝	事業促進	R8(2026)完成	9	18
34	街路（市）	加納岩小学校前通り線	—	山梨市	現道拡幅・電線共同溝	事業促進	R8(2026)完成	3	4
35	街路（市）	北中学校東通り線	北側工区	山梨市	現道拡幅・電線共同溝	—	未定	—	—
36	街路（市）	市役所前通り線	—	山梨市	現道拡幅・電線共同溝	—	未定	—	—
37	街路（市）	大月駅裏通り線	御太刀2丁目地内	大月市	現道拡幅・電線共同溝	—	R9(2027)完成	12	18
38	市町村道	側子藤沢線	—	大月市	バイパス整備	—	R9(2027)完成	2	2
39	市町村道	穂坂97号線	上ノ山工区	韭崎市	道路新設	—	R13(2031)完成	10	12
40	市町村道	龍岡18号線	堀切橋	韭崎市	橋梁耐震補強・修繕・現道拡幅	R2(2020)完成	—	—	8
41	市町村道	穴山5号線	中條工区	韭崎市	現道拡幅	—	2025部分供用	12	13
42	市町村道	八田13・161号線	野牛島・榎原工区	南アルプス市	歩道整備	R4(2022)完成	—	—	3
43	市町村道	櫛形8号線	桃園工区	南アルプス市	現道拡幅	R3(2021)完成	—	—	4
44	市町村道	菊沢芦原線	落合工区	南アルプス市	バイパス整備	事業促進	R5(2023)完成	1	4
45	市町村道	若草1号線	寺部工区	南アルプス市	バイパス整備	事業促進	R6(2024)完成	2	5
46	市町村道	櫛形18号線	山寺区	南アルプス市	現道拡幅	—	R9(2027)完成	2	3
47	市町村道	藏原・村山西割線	藏原工区	北杜市	現道拡幅	事業促進	R9(2027)完成	3	4
48	市町村道	大八田2号線	大八田工区	北杜市	歩道整備	事業促進	R7(2025)完成	2	4
49	市町村道	浅川線	浅川工区	北杜市	バイパス整備	事業促進	R9(2027)完成	4	8
50	市町村道	高根村山北割1号線外	村山東割工区	北杜市	歩道整備	事業促進	R10(2028)完成	5	6
51	市町村道	楯無上の山線	宇津谷工区	甲斐市	現道拡幅	—	未定	—	—
52	市町村道	1-32号線	南工区	笛吹市	現道拡幅	事業促進	R9(2027)完成	1	5
53	市町村道	1-13号線	増田地区	笛吹市	バイパス整備	R4(2022)完成	—	—	9
54	市町村道	1617・1618号線	—	笛吹市	道路新設	—	R9(2027)完成	8	15
55	市町村道	1-5号線	—	笛吹市	現道拡幅	—	未定	—	—
56	市町村道	1-8号線	—	笛吹市	現道拡幅	—	R6(2024)着手	9	12
57	市町村道	1-20号線	八幡橋	笛吹市	橋梁耐震補強・修繕	—	R6(2024)着手	5	7
58	市町村道	1051・1052号線	川中島地内	笛吹市	歩道整備	—	R6(2024)着手	3	3
59	市町村道	桑久保和見線	桑久保和見線	上野原市	現道拡幅	事業促進	R7(2025)完成	1	3
60	市町村道	鶴島駒門線	白山橋	上野原市	橋梁架替	R2(2020)完成	—	—	—
61	市町村道	上新田諏訪線	上新田工区	上野原市	現道拡幅	事業促進	R5(2023)完成	1	3
62	市町村道	四方津駅前モア線	四方津駅前広場	上野原市	駅前広場改良	事業促進	R5(2023)完成	1	5
63	市町村道	談合坂サービスエリア線	大野工区	上野原市	交差点改良	R2(2020)完成	—	1	2

64	市町村道	上於曾81号線	下於曾、西広門田、熊野	甲州市	現道拡幅	R2(2020)完成	事業促進	1	8
65	市町村道	西広門田33号線		甲州市	現道拡幅	—	事業促進	4	11
66	市町村道	下塩後22号線	熊野	甲州市	歩道整備	事業促進	事業促進	—	8
67	街路(市)	下塩後牛奥線	東工区	甲州市	現道拡幅	事業促進	事業促進	2	11
68	街路(市)	塩山駅下於曾線	Ⅰ工区	甲州市	道路新設	事業促進	事業促進	1	5
69	市町村道	4098号線ほか	布施、臼井阿原	中央市	現道拡幅	R4(2022)完成	—	—	2
70	市町村道	3169号線	下河東、一町畑	中央市	現道拡幅	R2(2020)完成	—	—	3
71	市町村道	田富玉穂大津線	布施工区	中央市	バイパス整備	R4(2022)完成	—	—	7
72	市町村道	玉穂中央通り線	下河東工区	中央市	現道拡幅	事業促進	R6(2024)完成	2	9
73	市町村道	岩間一本松2号線		市川三郷町	バイパス整備	R2(2020)完成	—	—	3
74	市町村道	庵鼻川浦線		市川三郷町	バイパス整備	R3(2021)完成	—	—	4
75	市町村道	越渡御屋敷線	越渡工区	南部町	現道拡幅	R4(2022)完成	—	—	5
76	市町村道	青柳32号線		富士川町	バイパス整備	事業促進	R9(2027)完成	2	3
77	市町村道	大柄大久保線		富士川町	バイパス整備	事業促進	R7(2025)完成	3	5
78	市町村道	リニア側道整備事業		富士川町	バイパス整備	事業促進	事業促進	10	13
79	市町村道	昭和玉穂中央通り線	昭和工区	昭和町	バイパス整備	事業促進	R9(2027)完成	8	12
80	市町村道	町道124号線	昭和町西条～昭和町西条	昭和町	バイパス整備	事業促進	R8(2026)完成	3	5
81	市町村道	下墓地宮作線	宮作橋	西桂町	橋梁新設	R4(2022)完成	—	—	2
82	市町村道	都町2号線	小沼地内	西桂町	バイパス整備	—	R8(2026)完成	1	1
83	市町村道	梨ヶ原中道線	忍草地内	忍野村	電線共同溝	R4(2022)完成	—	—	3
84	市町村道	富士登山道線	船津工区	富士河口湖町	電線共同溝	R3(2021)完成	—	—	9
85	市町村道	昭和道路線	身延地内	身延町	道路新設	事業促進	R9(2027)完成	1	1
86	市町村道	山中3号線		山中湖村	現道拡幅	事業促進	R6(2024)完成	2	3
87	市町村道	平野4号線		山中湖村	現道拡幅	事業促進	R6(2024)完成	1	2
—	市町村道	法能宮原線	新住吉橋	都留市	橋梁修繕	R4(2022)完成	—	—	4
—	市町村道	元坂小野線外	権源原橋外	都留市	橋梁修繕	事業促進	R9(2027)完成	1	2
—	市町村道	下栗原下石森線	新重川橋	山梨市	橋梁耐震補強・修繕	R2(2020)完成	—	—	2
—	市町村道	殿上下和田線	宮下橋	大月市	橋梁耐震補強・修繕・現道拡幅	—	R9(2027)完成	6	8
—	市町村道	若神子・下黒澤線	若神子工区Ⅰ期	北杜市	法面対策	事業促進	R5(2023)完成	1	5
—	市町村道	若神子・下黒澤線	若神子工区Ⅱ期	北杜市	法面対策	—	R9(2027)完成	5	5
—	市町村道	若神子・若神子新町1号線	Ⅰ期	北杜市	法面対策	事業促進	R5(2023)完成	1	2
—	市町村道	若神子・若神子新町1号線	Ⅱ期	北杜市	法面対策	—	R7(2025)完成	2	2
—	市町村道	須玉小尾9号線	御門橋	北杜市	橋梁修繕	未定	—	—	1
—	市町村道	須玉小尾9号線	御門中橋	北杜市	橋梁修繕	未定	—	—	1
—	市町村道	須玉比志3号線外	比志北橋外	北杜市	橋梁更新／橋梁・トンネル・カルバート修繕	事業促進	R11(2029)完成	27	27
—	市町村道	1-10号線	万年橋	笛吹市	橋梁耐震補強・修繕	事業促進	R6(2024)完成	1	5
—	市町村道	境川線外	境沢橋外	上野原市	橋梁修繕	事業促進	R9(2027)完成	2	3
—	市町村道	下岩崎1号線	穴田橋	甲州市	橋梁耐震補強・修繕	R4(2022)完成	—	—	1
—	市町村道	下萩原2号線	メガネ橋	甲州市	橋梁耐震補強・修繕	事業促進	R9(2027)完成	2	2
—	市町村道	上於曾81号線	新塩川橋	甲州市	橋梁耐震補強・修繕	R3(2021)完成	—	—	1
—	市町村道	根ノ上線外	根ノ上橋外	市川三郷町	橋梁修繕	事業促進	R9(2027)完成	1	1
—	市町村道	奥杯橋外	奥杯橋外	身延町	橋梁修繕	事業促進	R9(2027)完成	2	3
—	市町村道	倉ヶ平中村線外	居里大橋外	南部町	橋梁修繕	事業促進	R9(2027)完成	2	4
—	市町村道	鳥屋大塩線外	開柳橋外	富士川町	橋梁修繕	事業促進	R9(2027)完成	1	2
—	市町村道	小沼倉見下線外	大橋外	西桂町	橋梁修繕	事業促進	R9(2027)完成	1	2
—	市町村道	土手上3号線外	土手上3号橋外	忍野村	橋梁修繕	事業促進	R9(2027)完成	1	2

※災害防除・老朽化対策については、箇所が多いため位置図には未掲載としております。



令和2年3月初版
令和3年3月改定
令和4年3月改定
令和5年3月改定
令和6年3月改定
令和7年3月改定